

令和元年度 第2回

川西市産業ビジョン推進委員会 ビジョン策定部会 次第

とき 令和元年8月14日(水) 13時~15時

ところ 川西市役所 5階 503会議室

1 開会

2 議題

(1) 関係団体ヒアリングの実施結果 【資料1】

(2) データから見た各分野の状況 【資料2】

(3) 各分野の課題と対応 【資料3】

3 閉会







川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	■■■■■■■■■■
ご参加者様	■■■■■■■■■■
場 所	■■■■■■■■■■
日 時	令和元年 8月 6日 11:00~12:00
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	川西市は発信力が弱く、隣接市（宝塚市、池田市など）に比べると名前が売れていない。 コンテンツ、リソース十分に生かせていない。埋もれていて共有されていない。
2 課題に対し、どのような取組を行ってきましたか？	観光協会としては、観光サービスを担う事業者・担い手を見つけるプラットフォーム作りをめざしている。 ○能勢電アートライン・地域ブランディングチームを設置し、一市三町のリソースをデータベース化する。 地域ブランディングチームは、一市三町・県（阪神北県民局）、国土交通省（池田土木事務所）からそれぞれ着手を出してもらい、第1回の会合を開催した。 ○データベースは走り出したばかりだが、データをマッチングさせて観光サービスの提供が出来るようにしたい。そうすれば、満足度も高くなり、お金を落とすことにつながり域内経済循環につながる。
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	情報を発信し、観光に来ていただいた際に、がっかりしないように観光資源（景観、自然、歴史、ストーリー性）を整備しなければならない。 ○地元の人たちの受け入れ態勢が整っていないため、お金を落とす仕組みを整える必要がある。
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	川西市のみでは発信力・コンテンツも乏しい、一市三町のつながりでリソースを共有しあう。そこでは川西市が中心にならなくてはならない。 川西市には懐の深い対応を望む。一市三町が運命共同体だという認識を持ってもらいたく、あらゆる分野でつながりのある他の三

	町の事も考えてもらいたい。 ○川西市だけでは生き残れないとも思う。観光について一市三町（猪名川流域）がまとまった状態で初めて海外からも注目されるようになって考えている。 川西市はラッキーだと考えている。インターチェンジが出来て、交通アクセスが向上したこと、津波・地震からの影響も少ない。沿岸側の企業が内陸である川西市等をこれらのリスクが少ない場所だと思っている。 猪名川町の物流拠点が予定より従業員を増やそうとしている。箕面新町の開発も区画が全て埋まったと聞いている。川西市民の雇用も増え、近接しているので市内に仕事も増えるのではと考えている。 高速道路工事のあとそのままになっているゴルフ場跡地などを種地に企業誘致するのはどうか。タイミングとしてはチャンスもあると思う。
5 他の産業分野（商業・工業・農業・観光）の振興についてのご意見はありますか？	観光サービス・おもてなしについて川西市は後発組、前例の失敗をよく見てやっつけていかなくてはならない。 後発組なので付加価値の高いものを提供しなければならない。 ○大きなお金を落としてもらうために、古民家宿泊・体験でもジビエ等の料理（地元生産品）でも付加価値の高いものを目指すべき。それらの素材は地産地消を目指すべき。域内経済を回していかなければ、定住人口・関係人口の増加にはつながらない。 農家について、観光で来られた方のおもてなしに対応するロットに届かないだろう。続けたい方・新たにやりたい方については対応を考えなくてはならない。地元の物が食べられることは良い。 当社では、社員が飲食する際には沿線の個人店を勧めている。地元に戻元することがひいては能勢電のためになる。文房具も能勢電周辺の文具店から購入する事としている。 ○中学校の給食についても全体最適で地元お米・野菜は地元で買うべき。 地域をプロデュースするプロデューサーが必要。

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	
ご参加者様	
場 所	
日 時	令和元年 7月30日 11:00～
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と 感じていること は何ですか。 また、最も課題 と考えるものは 何ですか。	<p>川西市は福祉関連に重きを置いているところがあり、観光にあまり力が入っていない。</p> <p>PR といっても川西まつりは市民まつり的な色合いが強く、他市からの観光につながっていない。</p> <p>人を呼び込むという観点では黒川でインバウンド向けの取組を行おうとしているが、その地域の人口が少なく関係人口との均衡を図る必要がある。そのバランスをコーディネートする人が必要。</p> <p>商工会本体の意思で観光事業に取り組んでいるということは現在無い。</p> <p>観光協会自体（事務局）が市役所の中にあり、観光が盛んな自治体では単独で存在する。市職員に負担（専任できない）をかける事では発展性は見いだせないと思う。</p> <p>定住人口を増やすより、働く場所を増やすことの方がこのまちに関しては急務だと感じる。</p>
2 課題に対し、ど のような取組を 行ってきましたか？	<p>市民意識の高揚への働きかけをめざしてイベントを開催している。この活動も 10 年を経て世代交代の時期でもありその引継ぎが自分の役割だと思っている。その対応の中で若い人の熱意を拾っていききたい。</p>
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	<p>能勢電の行政界をまたにかけたにぎわいづくり、妙見山までどれだけ人を連れて行くか考えている。その活動も自社のみでやってしまっただけで地元住民が置き去りになってしまう可能性がある。住民を巻き込みながら連携を図っていききたい。</p> <p>受け手である住民が応援するなり、一緒に対応して行かないと、いつまでも能勢電もお金をかけられないと思っている。</p>

4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	<p>○役所が何かするべきだと言う方もあるが、限られた職員数では限界がある。</p> <p>コミュニティ組織に支援するのではなく、志（こころざし）団体に支援・投資してほしい。平等に分配する事で公平性が担保できるが、やる気のある団体・人が疲弊してしまう。</p>
5 他の産業分野（商業・工業・農業・観光）の振興についてのご意見はありますか？	<p>生産農家の方々はお祭りなどで生産品を出品してくれるが、持ってくるだけ、並べるだけで義務的に対応しているように感じる。売る楽しみであるとか、美味しく食べる工夫など共有してくれると良いと思う。</p> <p>商工会として、古い人間は雇用を期待できる企業の誘致が重要と考えるが、フリーランスのような働き方の人が増えて、まちが成り立てばよいと思う。</p>

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	■■■■■■■■■■
ご参加者様	■■■■■■■■■■
場 所	■■■■■■■■■■
日 時	令和元年 7月31日 13:00~
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	周辺の市では駅を出たところに観光インフォメーション（案内所）があるが、川西市には存在しない。 花火大会は1時間で終わるので、前後にイベントを開催するなどして観光客のつなぎ止め、お金を落とす時間を増やすべきだ。 バルは盛り上がりにかける。出店者が儲からない仕組みとなっている。
2 課題に対し、どのような取組を行ってききましたか？	
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	アステの広場への盆踊りのやぐらや、デッキ上への出店など、モザイク、アステ、観光協会、鉄道事業者などと、共同して開催できれば良い。
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	観光インフォメーション（案内所）が川西市には存在しないので設置を検討してもらいたい。アステ川西の1階のインフォメーションの所に観光総合窓口が出来ると良い。 過去に源氏まつりの騎馬行列を川西能勢口駅周辺から出発するルートを取ったが、数年に一度で良いので開催してほしい。
5 他の産業分野（商業・工業・農業・観光）の振興についてのご意見はありますか？	

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	
ご参加者様	
場 所	
日 時	令和元年 7月30日 14:00~
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	<p>川西市がどのような部類の観光を目指すのか、川西市のブランド性が良く分かりにくい。KPIとして売り上げで量るのが、関係人口で量るのが。</p> <p>観光を受け入れる基盤整備が出来ていない。</p> <p>観光ガイドなどでは目立つもの、マス(マスメディア、マスコミュニケーション)的な捉え方ではなく、小さくても光る地域資源を拾い集め発信する必要がある。</p> <p>観光ガイドではなく、住民の紹介や地域の特色を表現したチラシのようなものを作成した方が興味を引く。</p> <p>観光の目標をつくり、緩やかに進めていく方向性だと考える。</p>
2 課題に対し、どのような取組を行ってきましたか？	<p>能勢電も一種のブランドと言えるが、通常の乗降客数は減ってきている。人的輸送の延長線上ではなく地域のイベントにより魅力を発信し、定住人口の増加に繋がりたいと考えている。</p> <p>イベントを数回開催しているなかで大阪方面からの観光客に近くて良いところだという認識が広がってきていると感じている。</p> <p>妙見山のブランディングをしていきたいと考えている。芸能の神様でもあるので、宝塚歌劇との繋がりがりやその他の芸能の方へのアピールについても考えている。</p>
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	<p>インバウンドを狙い台湾への営業をしているが、コンテンツが無いため、近隣の一市三町と協力して少しずつでも何かできないかと考える。</p>

	<p>無理に新たな何かをつくるのではなく、川西市らしさのある観光資源として見える化しコンテンツ化を図る。1日歩いて過ごせる楽しいパンフレットなどの作成。</p> <p>行政がやるのではなく、資源を活かした観光開発を市民・事業者から募集し、オープンイノベーションで発展させ、対応していくうちに主体が増えていこう。莫大なお金を補助する必要も無いだろうと思う。</p>
5 他の産業分野(商業・工業・農業・観光)の振興についてのご意見はありますか？	<p>里山に関して、里山を管理する方々も高齢化しているので、担い手づくりも必要と考える。</p> <p>SDGs等の取組をソーシャルイノベーションにより進めていく。</p> <p>観光等についても市民憲章等の目標を定めて、市民・事業者主体でムーブメントを起こし進めている例もある。</p>

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	
ご参加者様	
場 所	
日 時	令和元年 8月 9日 16:00~
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	○「観光」のとらえ方による。昔はハードがメインで、現在はソフトが求められている。 ○今あるもの再編集し、社会の時流に合わせて押し出せるのではないか。
2 課題に対し、どのような取組を行ってきましたか？	○観光地ではない岡山県西粟倉村にも視察で来訪者があり、産業を見るためにきている。そこで活動をしている人にフォーカスし、暮らしを見せる。
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	○外部の人から見ると、内部の人には見えない資源が見える。
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	○ゴールを明確にし、定住する人を増やすという取組みであれば、リピーターを増やす戦略をしっかりと持つ。 ○イベントは普段の様子が変わらなくなってしまう。アトラインは行きたくなくなるが、リピートにはつながりにくい。 ○内部の人だけで考えると、無いものねだりになってしまい、行政に求めても数年で終わってしまう。
5 他の産業分野(商業・工業・農業・観光)の振興についてのご意見はありますか？	○そこにある「自然」のパワーが強いと毎年でも行きたくなる。 ○リピートを増やすためには、食事、おもしろいお店、ハードルが高くはなるが変化してゆくプロジェクトがあればいい。 ○特産品というものではなく、人の活動にフォーカスし、リピートするうちに徐々に消費者から生産者側になっていくような形がいい

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	
ご参加者様	
場 所	
日 時	令和元年 8月 6日 15:00~
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	川西市は「観光」と言うより「ベットタウン」としてのイメージが強い。 キセラ川西の開発を家電量販店のコマースで初めて知った。キセラ川西のプロモーションをもっと効果的にするべき。川西市の売りは何かはつきりさせること。池田はラーメン・動物園などコンテンツが見えやすいが、川西市は観光資源が平均化している。 観光とは異なるが、子育て・医療を重視しているまちとして売る事もありうる。 市内に宿泊施設はないが、特にニーズは感じられない。
2 課題に対し、どのような取組を行ってきましたか？	沿線各市から観光要素を収集し『阪急宝塚線沿線 観光あるき』を発行している。観光あるきは都心部からの高齢者が多い状況
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	池田市はNHKドラマの舞台となったが集客がラーメンに偏っており、他の観光要素を知ってもらうために、池田駅改札口を出たすぐの所へ観光案内所を設置している。 外国人受けするものを前面に出して対応する事も良いのでは。 ○京都では府警が4か国語でレンタル自転車の乗り方を知らない外国人の向けの冊子を発行している。
5 他の産業分野(商業・工業・農業・観光)の振興についてのご意見はありますか？	○駅から歩いて行ける位置にあるダムは貴重だが、観光歩きガイドには掲載されていない。 ダリヤ園や郷土館など、女性受けする資源を前面に出してよいと思うので、さらに食べるところやお土産を買う店の紹介があるとよい。

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	川西市商工会サービス部会
ご参加者様	サービス部会役員
場 所	川西市商工会
日 時	令和元年 7月31日 16:00~
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	<p>北部エリアについて、市民病院や阪急オアシスがなくなることに危機感を抱いている。住民の高齢化が深刻になっている。173号線に路線バスが走っておらず、特に高齢者の交通に支障がある。</p> <p>○市域が南北に長いので利便性の高い南部（川西能勢口駅周辺）へ車で行ってしまい地元の商店に行かなくなる。地元の商店がなくなると、歳を取った後に自分が買い物難民になってしまう。</p> <p>○地域の商店等を育てる意識が住民に無いのと商売人自体も魅力的な店をつくれていないし、点在している。</p> <p>能勢電の駅周辺に飲食店等が少なく活気がない。</p> <p>地域ごとには元気な若者もいるが、それぞれがばらばらに活動している。その若者をつなぐ仕組みが必要。西野亮廣氏のような存在とタッグを組んだ取り組みをするべきだ。</p> <p>○インターチェンジができたが、メリットが生かされていない。</p>
2 課題に対し、どのような取組を行ってきましたか？	<p>能勢電鉄では能勢電の知名度を上げるため、川西市だけではなく沿線自治体一市三町で地域ブランディングを考えている。</p> <p>行政区域を超えた取組が必要である。アートラインと沿線の繋がり（商工会、若者ワーキング）をつくり地域での循環づくり。</p> <p>観光客だけではだめで活性化（お金が落ちる仕組みが必要）により、うるおいを与え経済を循環させる。</p> <p>○インターチェンジ付近を活用した、新規事業の検討。</p>
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などとのような連携ができそうですか？	
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	<p>インターチェンジ周辺の発展の可能性が高い、より規制緩和(調整区域)し開発すれば北部エリアが潤う。</p> <p>市南部地域(川西能勢口周辺、キセラ川西)に力が入っており、</p>

	<p>中部・北部への施策を打つ必要がある。</p> <p>北部の活性化、地域創生をしてほしい。</p> <p>○鳴尾ゴルフ倶楽部が100周年を迎え、2020年にはシニアオープン(ゴルフ)が行われるのでスポーツを通じた地域創生を。</p> <p>○西野亮廣氏と進めている「木をテーマにした巨大モニュメント」に対して支援をし、シティープロモーションにつなげてほしい。</p> <p>インターチェンジを活用した新たな活性化の取り組み。</p>
5 他の産業分野(商業・工業・農業・観光)の振興についてのご意見はありますか？	<p>日本の経済活動の中心として、また市内でも建設業の発展が発展を牽引していたが事業承継されていないようだ。</p> <p>スーパーや商店が無くなる原因として近隣住民が利用していない現実もある。地域で地域のお店を育てる感覚がない。個店も魅力的なものがない。</p> <p>いちじく発祥の地として、作付面積の減少により衰退してしまわないか、品種改良等を行う事や振興策のための研究開発なども考えられる。</p>



川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	川西市商工会商業部会
ご参加者様	商業部会役員
場 所	川西市商工会
日 時	令和元年 7月30日 20:00～
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	<p>○市内に30代くらいまでの人の娯楽がない。</p> <p>○3連休が多くなっているが、レジャーでお金を使う場所がない。川西能勢口駅で降りず素通り（通過）する。</p> <p>○街にウェルカム感がない。排除もしていないがホスピタリティが足りない。</p> <p>市場は川西能勢口駅周辺の大規模商業施設、車型・ショッピングセンター型の2極化が進んだ。</p> <p>まちなかの飲食店が減少している。</p> <p>○チェーン店系は残るが、個性的な店が少なくなっている。個性的なお店を呼び込むためには、アステアモザイクボックスに個性的な店舗を呼び込む必要がある。</p> <p>まちなかのテナントは家賃が高い。</p> <p>バス路線が川西能勢口から放射線状に広がっており、市の北部の住宅団地ごとの拠点間（横の繋がり）を移動する乗り物がない。</p> <p>○医療関係の利用のためならバス・タクシーを併用しているが、小売店舗にとっては厳しい状況となっている。</p> <p>住宅団地内の商業者が辞めてしまう。商業者の高齢化・後継者問題によるもの。</p> <p>住宅団地内の店舗がなくなることにより、特に高齢者の日用品の買い物不便になっている。</p> <p>住宅団地内の空き店舗に喫茶店等が開店したこともあるが、1・2年が限度で辞める例が多い。</p>
2 課題に対し、どのような取組を行ってききましたか？	<p>新たに空き店舗に開店する場合、家主に家賃の減免をお願いしている。</p> <p>○空き店舗を活用した事業者への補助があれば黒字化するまでの期間を持ちこたえる事ができるかもしれない。</p>

3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	<p>まちなか、北部の店舗が個別に（医療・健康レストラン、ラーメン等）特色・個性を打ち出し競争する事も必要。</p> <p>住宅都市なので、古くから市内に住んでいる人より転入者が多い街だが、「源氏のまち」というアイデンティティをもってもらいたい。</p>
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	<p>医療機関を受診する場合は必然的に外出する。まちなかへ医療施設を集中させて、クーポン等を発行して商業等への波及効果を高める。</p> <p>自動車中心となっているため郊外店舗へ向かう。まちなかでのタウンモビリティの充実、自転車交通（サイクリング）の促進、循環する乗り物（バス・タクシー）の充実。</p> <p>産業ビジョンの存在を知ってもらうべき。重点的な事業を明確に示してデットラインを決めて取組むべき。</p> <p>土地利用等の縛りがあるため、制限を緩やかにするだけで変化がでると思う。</p> <p>○マンションの1階部分はクリニックばかりの状態。にぎわいを作るために、商業関係の店舗にするような縛りを設けてほしい。</p>
5 他の産業分野（商業・工業・農業・観光）の振興についてのご意見はありますか？	<p>阪急（電鉄・商業）・能勢電は街との繋がりを重視したイベント・仕掛けが必要。反対に地域が阪急・能勢電のために何ができるか考える事も必要。</p> <p>まちのイメージを共有し、そのテーマに集中した各分野連携。</p> <p>市内全体で『源氏のまち・ふるさと』と打ち出す事も有効。</p> <p>初めてくる人への歓迎・受け入れの姿勢（観光窓口）</p>

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	川西市商工会建設部会
ご参加者様	建設部会役員
場 所	川西市役所庁議室
日 時	令和元年 7月24日 11:20~12:00
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	<p>人材不足 事業承継（後継者）</p> <p>○上記2点に関連した業界イメージの転換 外国人については、自国で訓練してきているが、中小建設企業の特性として複数の職種に対応できるよう育成しなければならず、指導に時間と人、費用を要する。 女性の雇用は、職場環境の整備が必要になることもありそのための費用がかかる。</p> <p>○女性、外国人の雇用は、状況に対応した補助等があれば可能となる事も考えられる 市内のものづくり産業を維持するため仕組みがない。市の事業があったとしても市外業者が受注すればお金が市外に流れてしまえば税収も上がらない。</p>
2 課題に対し、どのような取組を行ってきましたか？	<p>県立の工業高校が行う地元への若者の就職、定着の事業に対応し、生徒を受け入れている。</p>
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	<p>大きな企業を誘致すれば、建設業務が増える。 若者の地元への定着させるための県の取り組みとして工業高校とタイアップし地元企業の説明会を行っている。</p> <p>○中学生のトライやるウィークなどの取組をしている。</p>
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	<p>大きな産業、企業を誘致することにより、建設業務を増やしてほしい。 高齢化するばかりなので若者の定着する PR や魅力づくりをしてほしい。 建設を促す規制緩和や用途地域の転換等の取り組み。 市の発注する事業について、小さな会社が受注しやすい規模と金額の仕事を増やしてほしい。</p> <p>○地元貢献度や技術力で受託者を選定する方式を導入してほしい。</p>

5 他の産業分野（商業・工業・農業・観光）の振興についてのご意見はありますか？	<p>大きな企業の誘致、少子高齢化により福祉への費用負担が多くなるがそのなかでも新たな取り組みなどに費用を割り潤う取り組みをしてほしい。 まちなかに人が集まる仕組みを考え、収益に貢献してほしい。 高齢化するばかりなので若者の定着する PR や魅力づくりをしてほしい。</p>
---	---

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	川西市商工会工業部会
ご参加者様	工業部会役員
場 所	川西市商工会
日 時	令和元年 7月30日 16:00~
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	<p>近隣の市道で大型車両通行が出来ない道路があり、輸送がしにくい状況がある。</p> <p>事業承継は何とかできている。</p> <p>○従業員（働き手）が少ない。工業高校も総合高校化している背景があり工業を志す人が減っている。大学卒はさらに採用できない。求人を出しても若い人の応募がない状況で、40歳代からの中途が多い。</p> <p>工業地域で、同業他社の跡地が住宅へ転換されている。残った事業所が住宅に囲まれ住民に迷惑がられ、騒音や臭気の苦情などが生じている。まとまった工業地域の集積を誘導してくれば移る事も考えられる。</p>
2 課題に対し、どのような取組を行ってきましたか？	○働き手の補充のため、若い人の就職は縁故で何とか採用している。
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	業務の自動化や機械化については、製品の製造の前段階の素材を扱う業態が多いためむずかしい。
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	<p>創業環境への課題など、相談できる窓口があればよい。</p> <p>本ビジョンにおいて、工業の衰退を成り行きで見守る程度とするのか、むしろ促進する方向性なのか示してほしい。</p> <p>まちづくりの観点で、工業地域の集積や保全を誘導する事も考えてほしい。</p>
5 他の産業分野（商業・工業・農業・観光）の振興についてのご意見はありますか？	



川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	ハローワーク伊丹 / 一般社団法人キャリアエール
ご参加者様	
場 所	川西市役所 301 会議室
日 時	令和元年 8 月 2 日 15:30 ~ 16:30
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と 感じていること は何ですか。 また、最も課題 と考えるものは 何ですか。	人材不足 地場産業の後継者不足 最低賃金の差から大阪への労働人口の流出 川西市で働くという点に対する PR がうまく機能していない 外国人労働者を雇うことも考えられるが、給与以上に福利厚生等 での費用が多く必要になるため、企業は積極的になれない 公共交通が不便であり車等を使用せざるを得ないため、通勤に制限 がある 求人数（パート等も含む）は増加しているが、求職者の希望する 条件とのマッチングがうまくできていない（スーパーの求人は土 日の勤務を求めているが、求職者である主婦層は土日の出勤を敬 遠している 等）
2 課題に対し、ど のような取組を 行ってきました か？	ハローワークに求人を出す企業に対し賃金差による労働人口の 流出の説明を行い、注意を呼び掛けている。 若者の職場体験事業を行い、ニート、引きこもり状態の若者の就 労支援を行っている
3 課題に対し、民 間企業や大学・ 研究機関などど のような連携 ができそうです か？	中小企業は自分たちの産業の発信をしたいというニーズはあり、 個々の企業の努力はあるので、市とも連携した発信 就職先が決まらない、自己の発信ができない等様々な課題を抱え ている学生に対し、就労支援や学生個人の抱える課題解決の事業 を大学と連携して行っていく。
4 課題に対し、行 政に実施してほ しいことはあり ますか？	川西市にしかない仕事・産業の周知がうまくできていないため、 市をあげた産業の発信をしてほしい 若者の就労支援事業に対する予算をつけてほしい 住みやすさ、仕事しやすさといった基本的な住環境の整備が必要

5 他の産業分野 (商業・工業・農 業・観光)の振興 についてのご意見 はありますか？	街中で若者が自由にパフォーマンスできるような場を市が提供 することで、新しい才能の発掘等を進めてほしい 川西市の地域の歴史を分かり易くストーリーとしてつくること で、地域の産業の理解や地域愛を深めるようにしてほしい
---	--



【起業関係ヒアリングシート】

送付対象	川西女性起業塾 H28,29,30 受講者 48名
	商工会 起業支援セミナー H29,30 受講者 58名

R1.8.13時点

	現状	開業時期	事業内容	主な課題	課題への取り組み	他企業等との連携	行政に求めるもの	他分野への意見
1	未起業	2020.4	コワーキングスペース・フリースクール	広告	協賛する個人起業家とのつながりづくり	運営指導や講座の受講	広告	民泊を市内イベントの開催時に許可
2	予定なし							
3	既起業	2017.11	メディカルアロマセラピー・リラクゼーション	安定した収益、新規顧客の確保(広告宣伝費)	ネット広告・折込チラシ・紹介キャンペーン	法人契約(カウンセリング、リラクゼーション)	広告	西野氏と連携をとって、集客力を利用すればいい
4	既起業	2018.4	ドローン空撮・コンサル	理念の共有	相手を信頼		行政の負担減	
5	未起業		薬膳の料理教室	集客	人脈を広げ宣伝、チラシ作成			食育はどの分野でもコラボできると活躍の場が広がる
6	未起業	2020以後	フラワーレッスン、アレンジメントの販売	集客、資金		企業主催イベントでのワークショップ	資金面での支援	
7	既起業	2016.1	女性子ども専門の鍼灸院	認知度向上	SNS,地域活動、商工会相談、イベント出店、ラジオ	児童福祉関連や助産院とサービス連携	児童発達関連の業種でトライアルをしたいが介入方法がわからない。女性は家庭があるとフルスイングできない。「自営業者」への意識変革ができない人が多い原因。	
8	未起業		ものづくり教室	継続的な需要見込み	情報収集(ネット等)	講師派遣、研修会受講	広報、事業の委託	情報の共有化、求める人と起業する人のマッチング
9	既起業	2016.9	手作り雑貨製造販売、料理教室	顧客拡大、商品の独自性、顧客ニーズ	セミナー参加		買い物近所できない不便さを高齢者子どもは感じている	
10	予定なし							
11	既起業	2018.2	受験学習塾	生徒募集、講師の確保、資金繰り	チラシ、副業、資産売却		起業補助金にフランチャイズも対象としてほしい	
12	予定なし							

13	予定なし		訪問アロマセラピー	健康面				
14	予定なし		未定	現在の収入からの減少	時間をかけて検討			
15	未起業	2019.10	ハンドクラフト	販売ルート、大量生産ができない、生活費の確保	イベントやフリマで販売、起業者との交流、SNS発信	ユニバーサルデザインへの取り組み支援	小規模起業ノウハウ講座、公共施設利用の活動支援	各分野のネットワークとのコラボ、市内産業のPR
16	既起業	2018.11	オーガニックベジタリアンカフェ	持続可能な社会といわれているが、企業も自社の利益を優先しているように感じる	SNS,来客との対話、チラシ・パンフ	大いに連携できるが、持続可能な社会に向けて進もうとしている企業はなかなかない	農薬を減らして、有機農業を推進する	どの分野でも自然を回復する方向へ動かないと続けられないという視点を持ってほしい

## 目次

1．産業に関わる現状	2
(1) 人口	2
総人口及び年齢構成別人口の推移	2
人口自然動態	3
人口社会動態	3
総合計画における人口推計	3
人口ビジョン・総合戦略における「めざすべき将来人口」	4
(2) 土地利用	5
(3) 市内総生産	6
(4) 事業所数及び従業者数の推移	9
2．産業分野別に見た現状と課題	11
(1) 商業の現状と課題	11
小売店舗数及び従業者数の推移	11
年間販売額の推移	11
商業の購買吸引力（小売中心性指数）の動向	12
市内での買い物状況	13
(2) 工業の現状と課題	15
事業所数及び従業者数の推移	15
製造品出荷額等の推移	16
1事業所あたりの製造品出荷額等・従業者数の推移	16
(3) 農業の現状と課題	18
総農家数の推移	18
総農家の経営耕地面積と耕作放棄地、販売農家の就業人数の推移	19
農産物販売金額規模別農家比率の推移	20
集落営農の状況	21
農業に新規参入した一般法人数	21
(4) 観光の現状と課題	23
交通特性	23
地域における観光入れ込み客数	25
川西市における観光客入れ込み客数	26
(5) 起業・労働関係	27
起業	27
就労	28



## 1 . 産業に関わる現状

本市の人口は、平成27年国勢調査では160,287人であり、平成22年国勢調査と比べて916人の減少に転じており、今後さらに減少していくことが予測されています。このような人口の動向や少子・高齢化の進行が、個人消費や住宅投資など需要面でのマイナス作用に加え、地域経済を支える生産年齢人口の減少といった問題を引き起こす要因となっています。

また、本市の産業は、住宅都市として発展してきた経緯から、サービス業及び卸売・小売業、不動産業が、事業所数の8割、総生産額の6割以上を占めています。

市内総生産の推移をみると、平成28年には過去最高値となる326,960(百万円)から平成29年には324,213(百万円)へ減少傾向となっています。

さらに、産業別では、製造業において、総生産額、事業所数及び従業者数のいずれも減少が目立つとともに、卸売・小売業においても同様の傾向がみられる一方で、不動産業とサービス業については、市内全体の総生産額に占める割合が高くなる傾向がみられます。

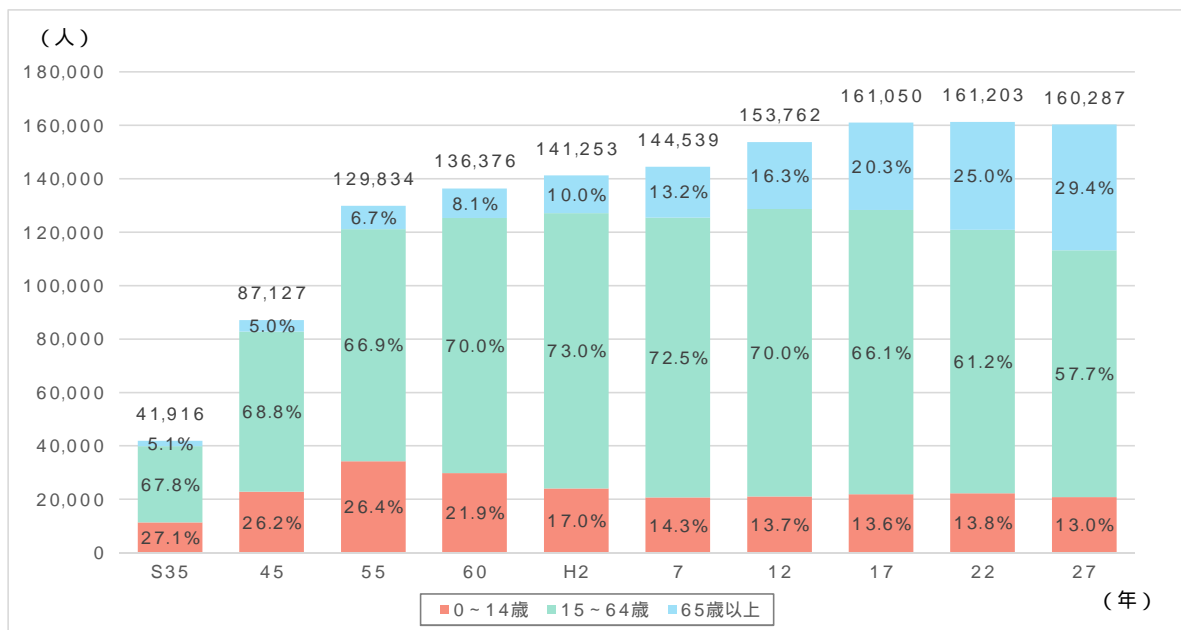
### (1)人口

#### 総人口及び年齢構成別人口の推移

人口は昭和30年代中頃から急増し、平成22年までは増加傾向にあり約16万人となりましたが、平成27年からは減少へ転じています。

また、15歳未満の年少人口が減少、65歳以上の高齢者人口は急速に増加しており、少子・高齢化が進行しています。

図：総人口及び年齢構成別人口の推移



資料：国勢調査

人口自然動態

表：人口自然動態

(単位：人) 各年次合計

年次	出生			死亡			自然増減数		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
H25	1,172	602	570	1,345	704	641	173	102	71
26	1,102	558	544	1,395	733	662	293	175	118
27	1,086	566	520	1,488	759	729	402	193	209
28	1,048	527	521	1,481	748	733	433	221	212
29	1,010	486	524	1,586	863	723	576	377	199

資料：市市民課

注：住民基本台帳法に基づいて集計したものである。(外国人登録法に基づく平成24年7月9日までの異動数を含んでいる。)

人口社会動態

表：人口社会動態

(単位：人) 各年次合計

年次	転入			転出			社会増減数		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
H25	5,971	3,027	2,944	5,923	3,031	2,892	48	4	52
26	5,792	2,922	2,870	5,746	2,907	2,839	46	15	31
27	5,668	2,910	2,758	5,788	3,028	2,760	120	118	2
28	5,552	2,805	2,747	5,605	2,890	2,715	53	85	32
29	5,329	2,693	2,636	5,548	2,895	2,653	219	202	17

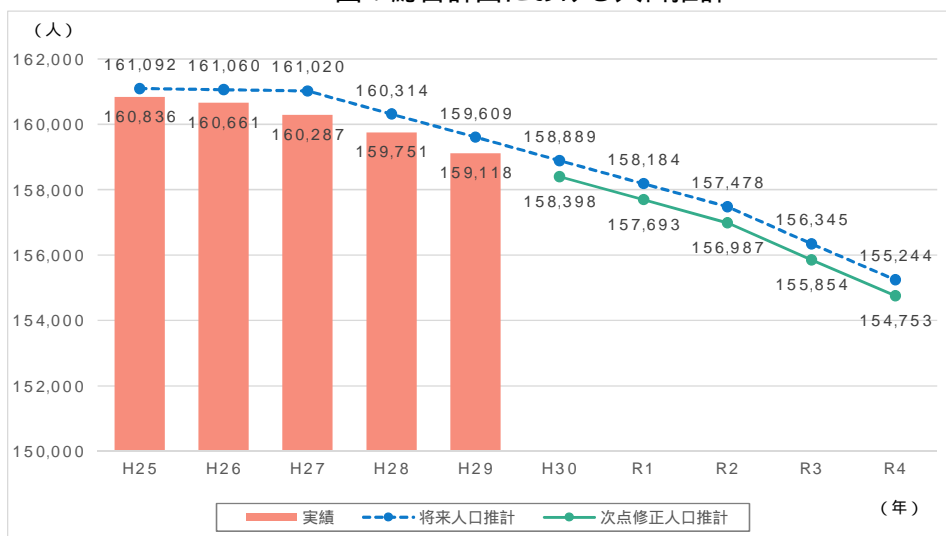
資料：市市民課

注：住民基本台帳法に基づいて集計したものである。(外国人登録法に基づく平成24年7月9日までの異動数を含んでいる。(転入及び転出の内訳は、転出取消、住所設定、帰化、性別修正、職権回復・消除、町・丁名変更等を含む。))

総合計画における人口推計

川西市第5次総合計画後期基本計画における人口推計では、本産業ビジョン前期の終期である令和4年度に154,753人となっています。全国的にも人口減少、少子・高齢化が進行する中で、本市においてもその影響は避けることができず、その後も、人口減少が進むと見込まれることから、生産年齢人口も減少することが予想されます。

図：総合計画における人口推計



資料：市総合計画



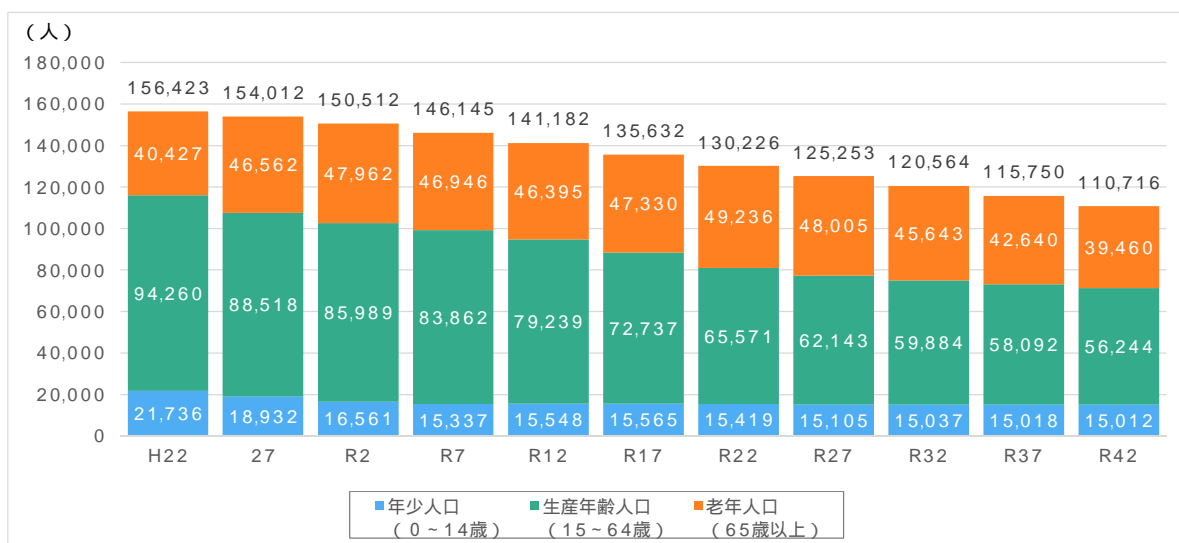


### 人口ビジョン・総合戦略における「めざすべき将来人口」

人口ビジョン・総合戦略では、人口減少による市民生活の影響と課題の整理や基本姿勢を明確にするとともに、総合戦略を策定し、施策展開を積極的に実施していくことによる「めざすべき将来人口」を設定しています。

この将来人口では、令和2年に150,512人、令和7年に146,145人となっており、その後も5年ごとに概ね5,000人減少しますが、長期的(令和42年)に110,000人を確保することとしています。

図：総人口と年齢3区分別人口の将来推計



資料：人口ビジョン・総合戦略

(2) 土地利用

本市の面積は、5,344haで、市街化区域が2,302ha(構成比:43%)、市街化調整区域が、3,042ha(構成比:57%)となっています。

市街化区域内での産業に係る用途地域は、近隣商業地域90.2ha(構成比:3.9%)、商業地域17.6ha(構成比:0.8%)、準工業地域101.9ha(構成比:4.4%)、工業地域42.4ha(構成比:1.8%)となっており、全体で10.9%を占めています。

近隣都市と比較すると、宝塚市に類似し、伊丹市、三田市及び池田市に比べ、工業系の用途地域の割合が低くなっており、住宅都市としての特徴があらわれています。

表：都市計画の状況

(H29.3.31 現在)

区 分	面積 (ha)	構成比 (%)
都市計画区域	5,344	100
市街化区域	2,302	43
市街化調整区域	3,042	57

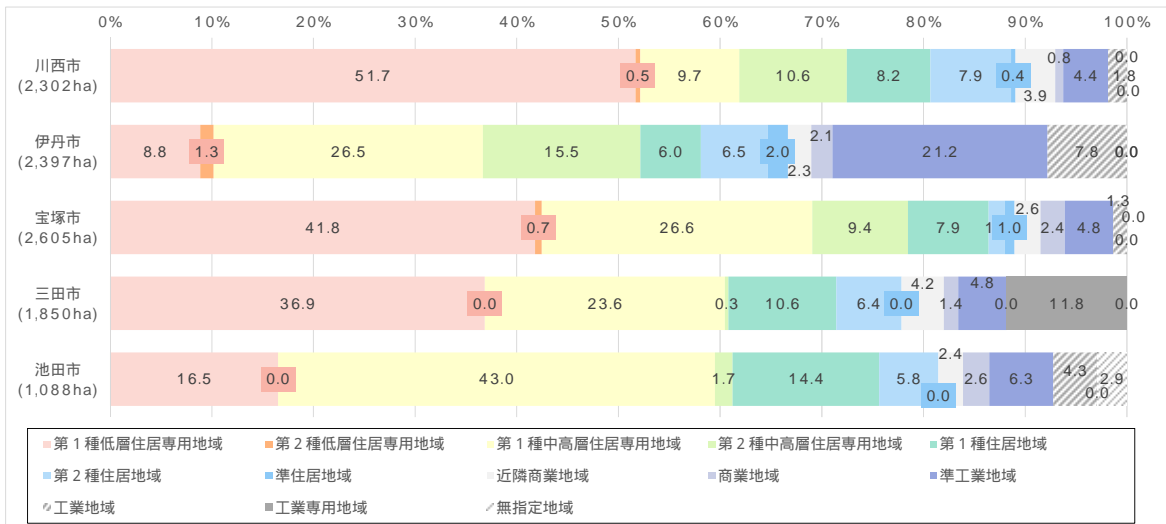
資料：市都市計画課

表：川西市の用途地域の状況

用途地域	面積 (ha)	構成比 (%)
第1種低層住居専用地域	1189.5	51.7
第2種低層住居専用地域	11.3	0.5
第1種中高層住居専用地域	223.6	9.7
第2種中高層住居専用地域	243.3	10.6
第1種住居地域	189.6	8.2
第2種住居地域	182.5	7.9
準住居地域	10.2	0.4
近隣商業地域	90.2	3.9
商業地域	17.6	0.8
準工業地域	101.9	4.4
工業地域	42.4	1.8
工業専用地域	-	0.0
合 計	2,302	100

資料：市都市計画課

図：近隣都市の用途地域の状況





表：近隣都市の用途地域の状況

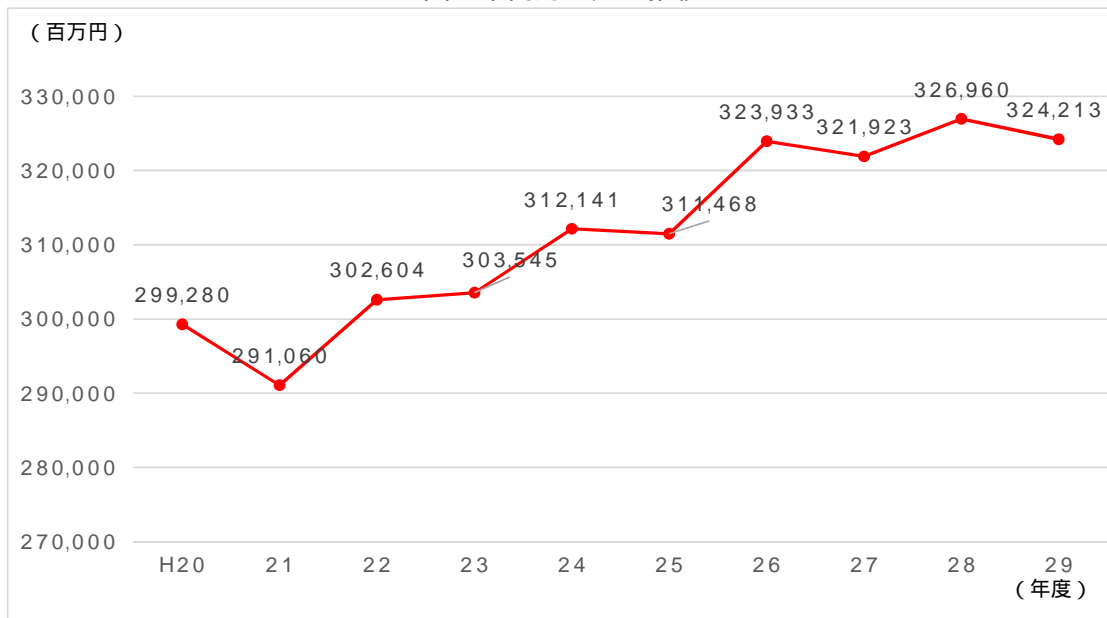
用途地域	川西市	伊丹市	宝塚市	三田市	池田市
第1種低層住居専用地域	1,189.5	212.0	1,089.0	682.0	179.7
第2種低層住居専用地域	11.3	32.0	17.0		
第1種中高層住居専用地域	223.6	635.0	693.0	437.0	467.4
第2種中高層住居専用地域	243.3	371.0	245.0	6.3	19.0
第1種住居地域	189.6	143.0	207.0	196.0	156.9
第2種住居地域	182.5	157.0	41.0	119.0	63.3
準住居地域	10.2	48.0	25.0		
近隣商業地域	90.2	55.0	67.0	77.0	26.4
商業地域	17.6	50.0	62.0	26.0	28.1
準工業地域	101.9	507.0	124.0	88.0	68.5
工業地域	42.4	187.0	35.0		47.0
工業専用地域				219.0	
無指定地域					31.7
合計	2,302	2,397	2,605	1,850	1,088

資料：各市統計書

### (3) 市内総生産

市内総生産( )の推移をみると、平成20年9月のリーマンショックによる経済活動の悪化による影響以降、増減を繰り返しながら持ち直し傾向にあります。

図：市内総生産の推移



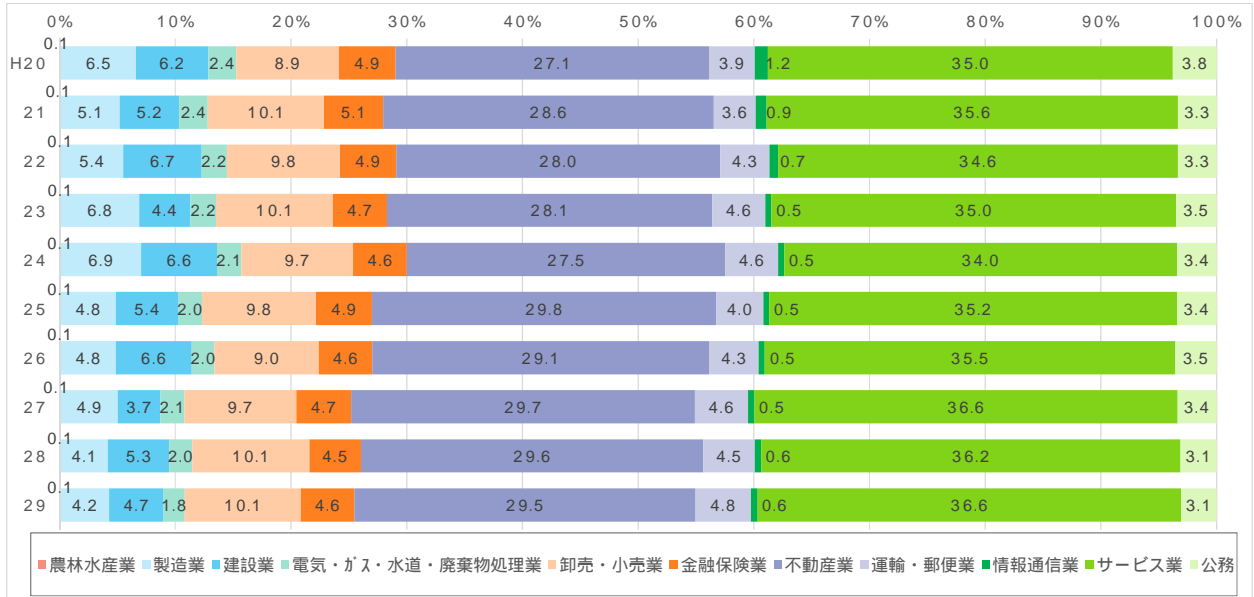
**市内総生産**：1年間に市内で行われた各経済活動部門の生産活動によって、新たに生み出された付加価値を貨幣価値で評価したもの。

資料：「市町民経済計算(兵庫県)」(平成29年度)市内総生産速報値

市内総生産の構成比は、「不動産業」と「サービス業」がそれぞれ約3割近くを占めています。「サービス業」は横ばいを続けていますが、「製造業」は年々減少傾向にあります。

寄与度( )をみると、兵庫県、阪神北地域、川西市のいずれにもおいても「製造業」がマイナスに大きく寄与しています。本市では、「建設業」がマイナスに寄与しており、「運輸・郵便業」と「サービス業」のみがプラスに寄与しています。

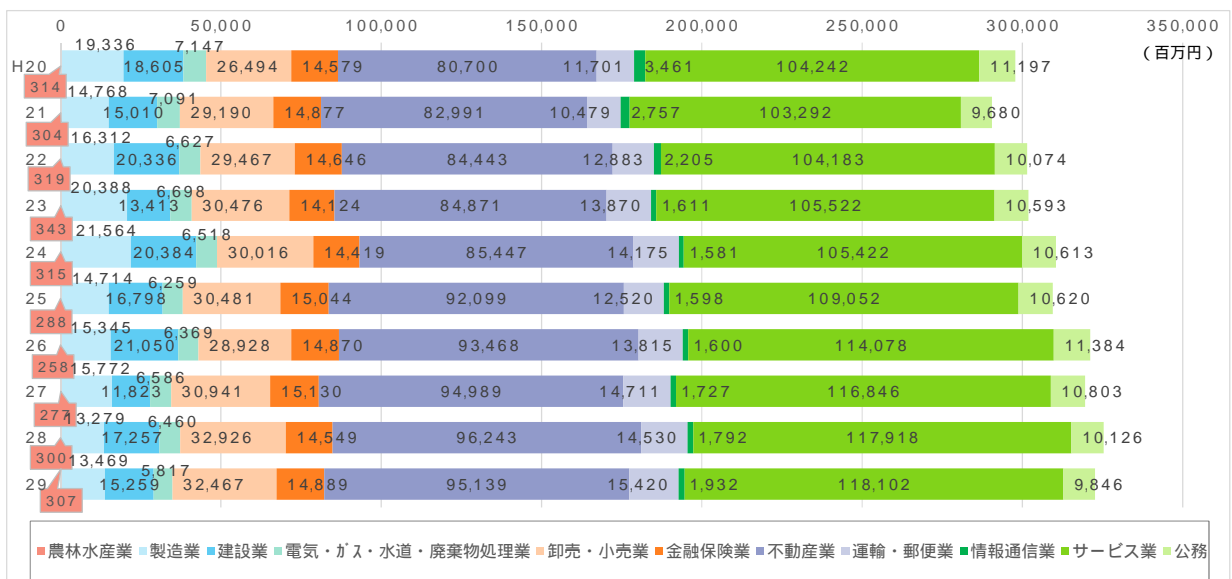
図：市内総生産構成比の推移



注：サービス業（宿泊・飲食サービス業、専門・科学技術・業務支援サービス業、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービス）

資料：兵庫県市町村内総生産統計表

図：市内総生産業種別金額の推移

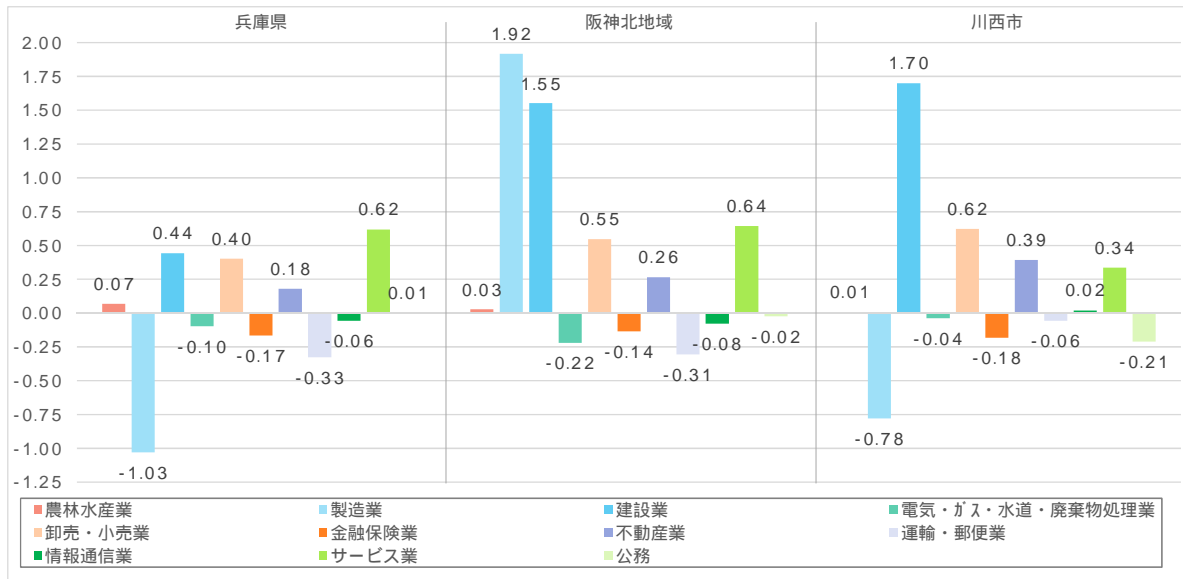


注：サービス業（宿泊・飲食サービス業、専門・科学技術・業務支援サービス業、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービス）

資料：兵庫県市町村内総生産統計表



図：寄与度の状況（平成 28 年度）



**寄与度**：全体の総生産額の増加に各項目がどれだけ寄与したかをみる指標のこと。  
上記の寄与度は兵庫県内総生産、阪神北地域内総生産、川西市内総生産の増加に各業種がどれだけ貢献したかを示している。

世帯類型別 1 世帯当たり 1 か月間の収入と支出（平均）は、世帯人員数平均は県及び阪神北地域よりも高く 3.03 人であり、持ち家比率も高くなっています。また、年間収入額は、県・阪神北地域と同程度となっていますが、負債現在高（主に住宅ローンなど）は大きく上回っています。

図：2 人以上世帯の 1 世帯当たり 1 か月間の収入と支出（平均）

収支項目	単位	川西市	阪神北地域	兵庫県
世帯人員	(人)	3.03	2.96	2.96
有業人員	(人)	1.28	1.32	1.3
世帯主の年齢	(歳)	56.5	54.9	57.7
持ち家率（現住居）	(%)	86.5	78.8	84.2
家賃・地代を支払っている世帯の割合	(%)	17.7	22.6	17.3
年間収入	(千円)	6,241	6,263	6,100
消費支出	(円)	290,174	291,383	292,174
エンゲル係数	(%)	23.6	24.2	25.3
貯蓄現在高	(千円)	15,030	17,221	16,757
負債現在高	(千円)	8,960	6,429	4,862
負債保有率	(%)	54.8	47.2	39.6

注意：支出に「こづかい(使途不明)」、「贈与金」、「他の交際費」及び「仕送り金」は含まれていない。平均には、「核家族世帯」、「夫婦とその親の世帯」及び「夫婦と子供と親の世帯」以外の世帯も含む。

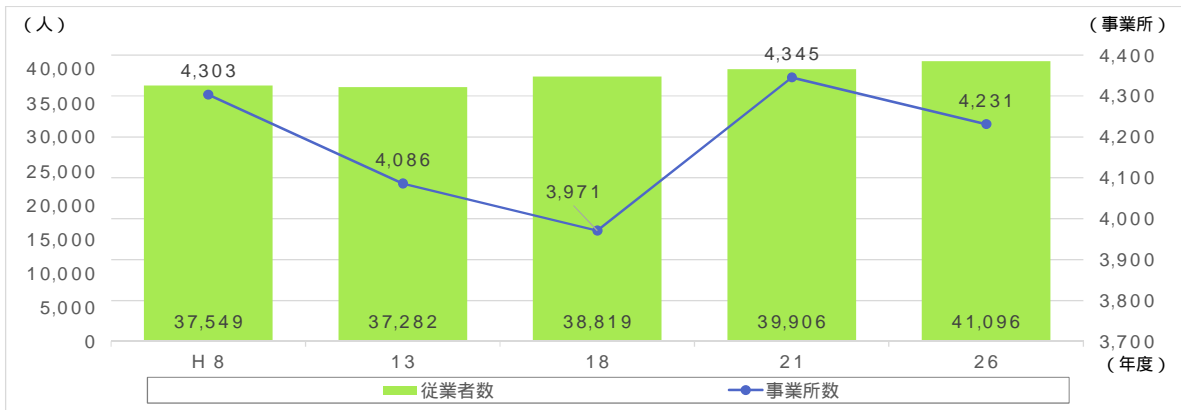
資料：平成 26 年全国消費実態調査



(4) 事業所数及び従業者数の推移

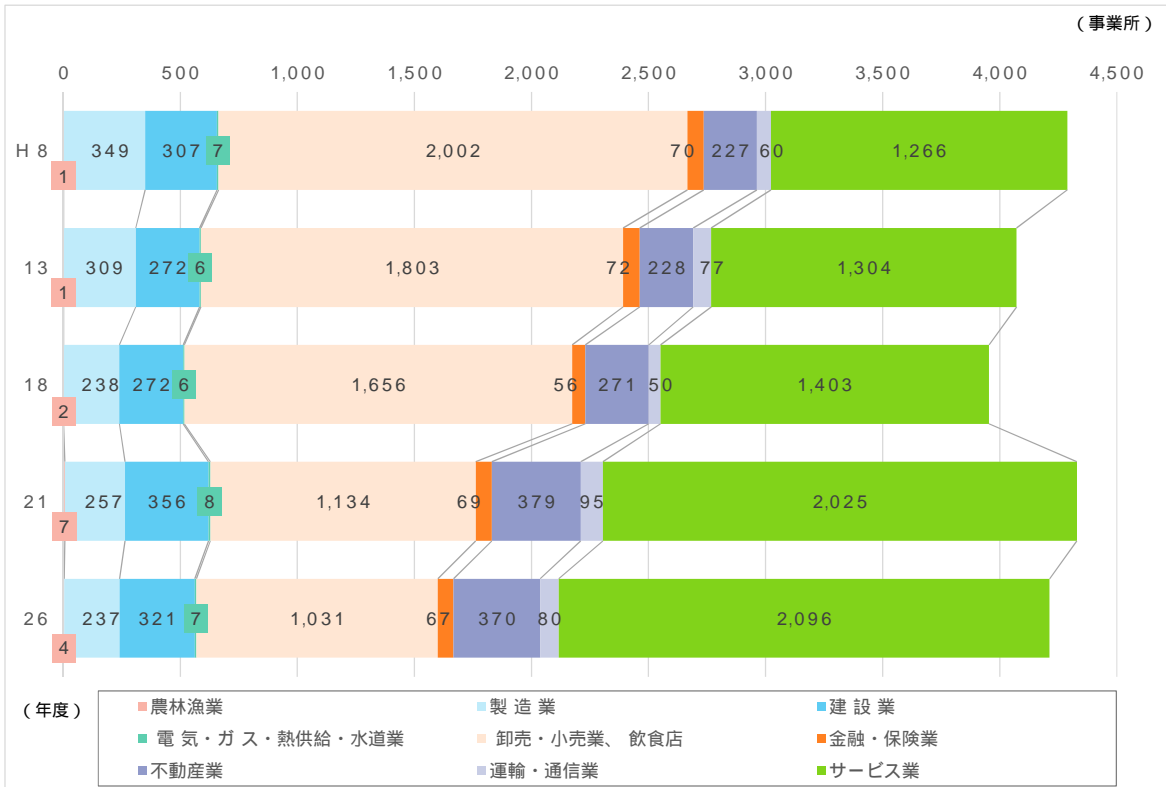
事業所数及び従業者数の推移をみると、ともに平成18年度から増加傾向にあります。平成26年度の事業所数では、「サービス業」が2,096事業所で最も多く、次いで、「卸売・小売業」1,031事業所、「不動産業」370事業所、「建設業」321事業所と続きます。その推移をみると、「卸売・小売業」、「建設業」、「不動産業」は減少、「サービス業」は増加しています。

図：事業所数及び従業者の推移



資料：平成18年度までは事業所・企業統計調査、平成21年度以降は経済センサス基礎調査（公務除く）

図：事業所数の推移



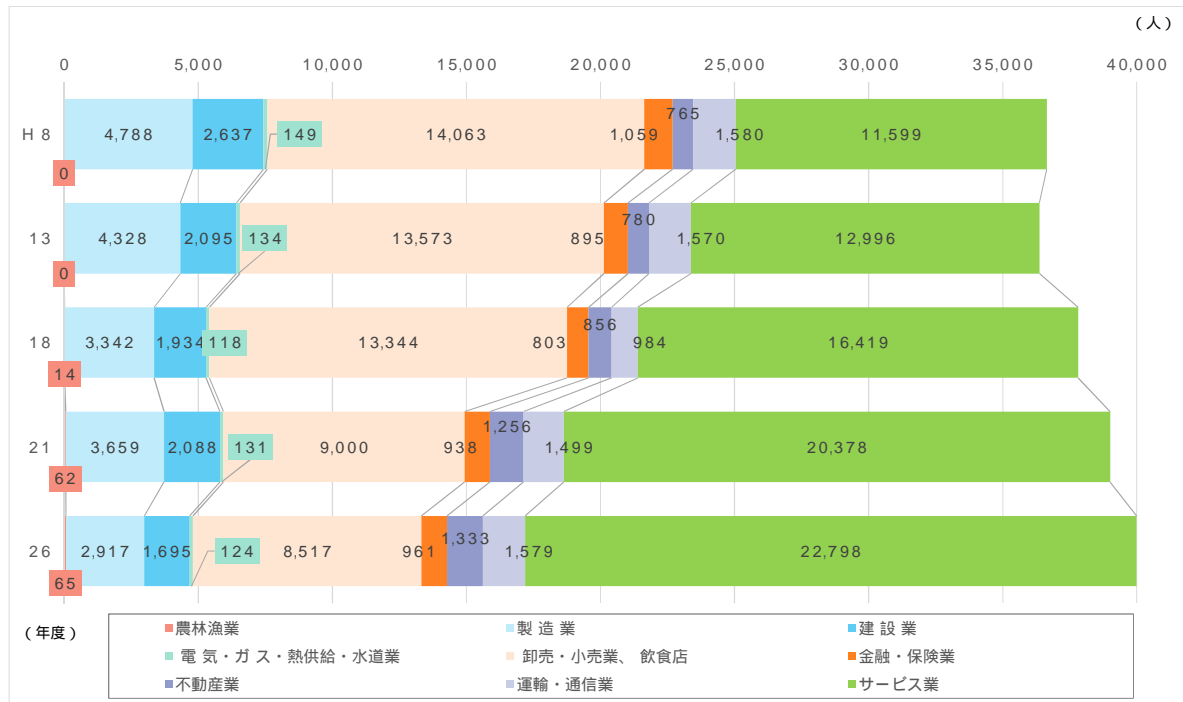
注：事業所・企業統計調査と経済センサス基礎調査では産業種別が異なる部分がある。サービス業は、飲食店・宿泊、医療・福祉、教育・学習支援、複合サービス、その他サービス業を含む。

資料：平成18年度までは事業所・企業統計調査、平成21年度は経済センサス基礎調査（公務除く）



平成 26 年度の従業者数は、「サービス業」が最も多く、全体の 5 割以上を占めており、次に「卸売・小売業」となっています。その推移をみると「サービス業」、「不動産業」、「運輸・通信業」は増加傾向にあり、全体として増加傾向となっています。

図：従業者数の推移



注：事業所・企業統計調査と経済センサス基礎調査では産業種別が異なる部分がある。  
サービス業は、飲食店・宿泊、医療・福祉、教育・学習支援、複合サービス、その他サービス業を含む。

## 2. 産業分野別に見た現状と課題

### (1) 商業の現状と課題

#### 【商業の現状】

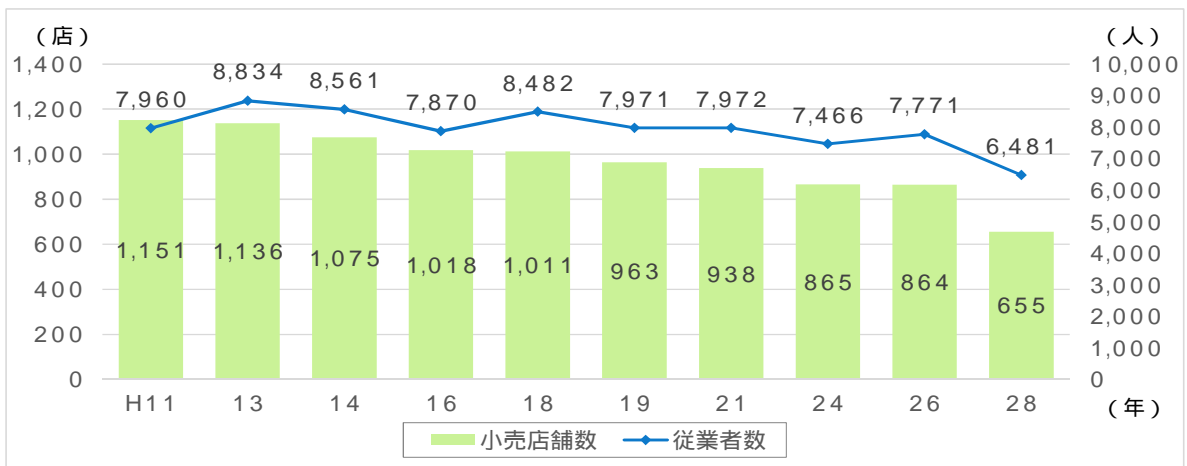
本市の商業は、昭和48年頃より、川西能勢口駅周辺において、駅前再開発事業などが進み、「小売業」、「サービス業」といった第3次産業を中心に発展を遂げてきました。

現在では、近隣自治体への大規模小売店舗の相次ぐ進出、店主の高齢化や後継者不足により地域に根ざした商業が衰退傾向にあります。

#### 小売店舗数及び従業者数の推移

小売店舗数及び従業者数の推移をみると、平成11年から減少傾向が続いています。

図：小売店舗数及び従業者の推移

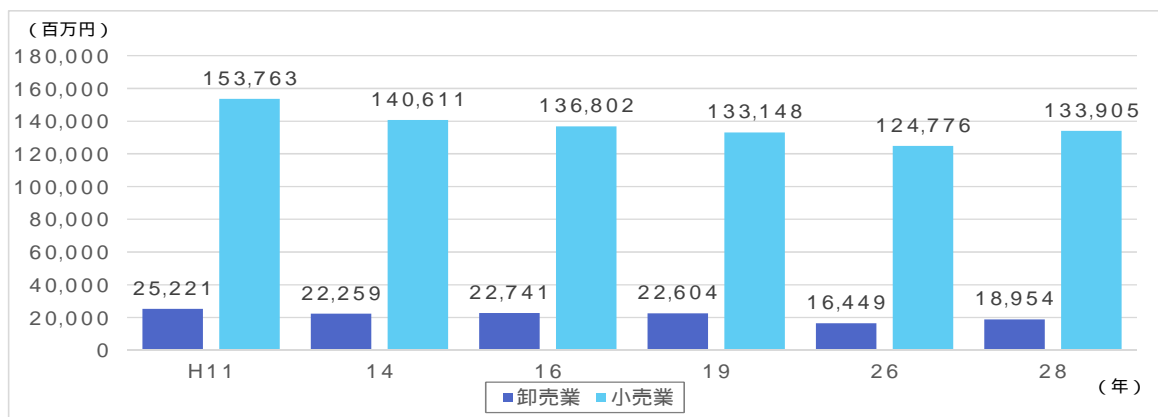


資料：平成18年度までは事業所・企業統計調査、平成21年度以降は経済センサス基礎調査（公務除く）

#### 年間販売額の推移

年間販売額の推移をみると、「卸売業」、「小売業」とともに減少傾向にあり、平成28年にやや持ち直しているものの「卸売業」で189億540万円、「小売業」で1,339億050万円となっています。

図：年間販売額の推移



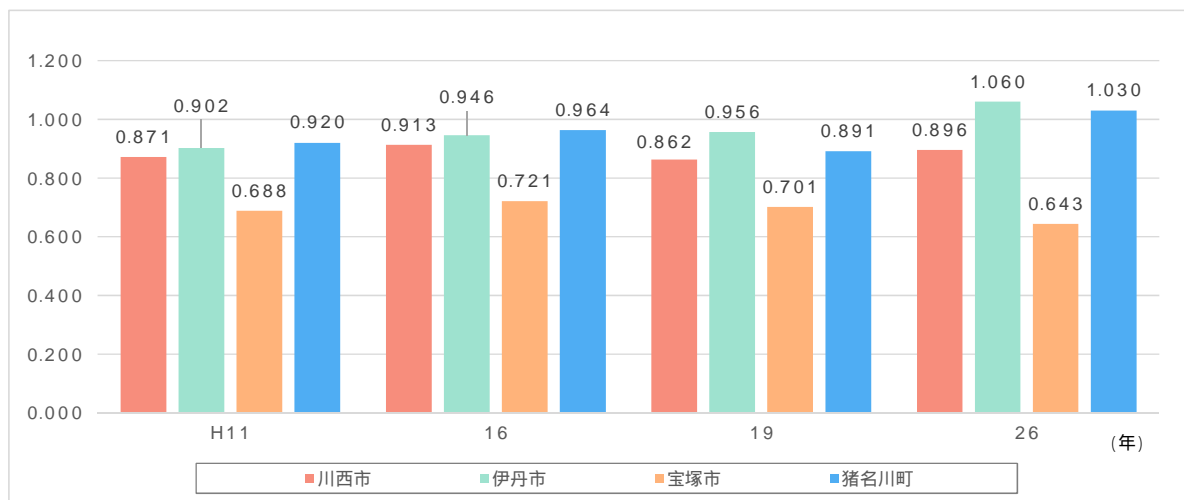
資料：商業統計、経済センサス



### 商業の購買吸引力（小売中心性指数）の動向

平成26年の兵庫県における川西市の小売中心性指数は0.896で、平成19年の0.862より0.034ポイント上昇しているものの、消費が外部に流出している状況は継続しています。

図：小売中心性指数の推移



資料：商業統計調査

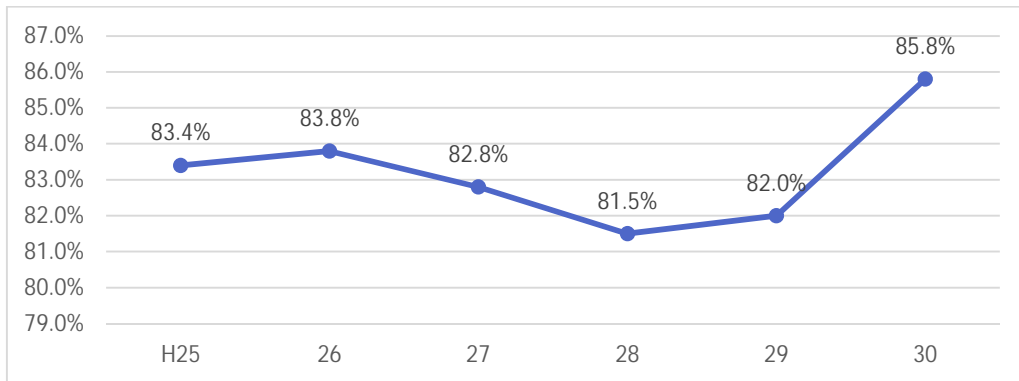
小売中心性指数：地域が買い物客を引き付ける力を表す指標。1以上の場合は、外部から買い物客を引き付け、1未満の場合は外部に流出しているとされる。

$$\text{小売中心性指数} = \frac{\text{市内小売業年間販売額} / \text{市の人口}}{\text{兵庫県内小売業年間販売額} / \text{県の人口}}$$

市内での買い物状況

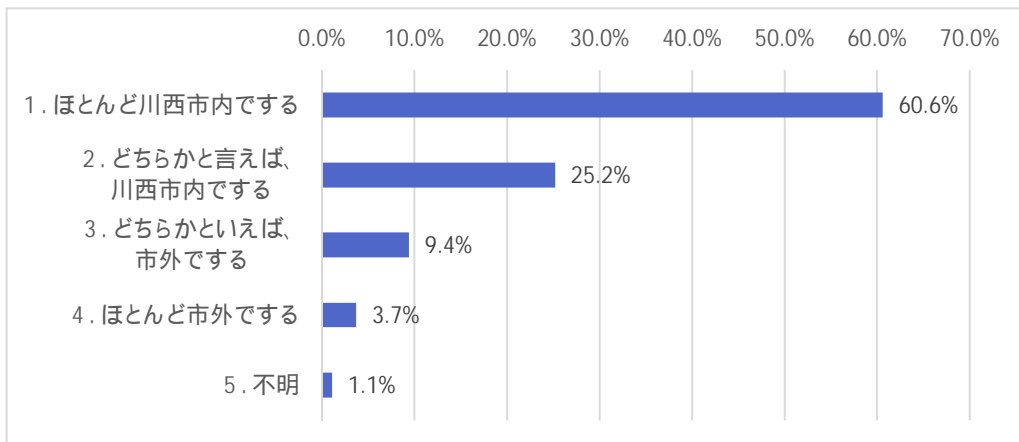
平成30年に「市内で買い物する」としている市民は85.8%となり、平成29年の82.0%より3.8ポイント上昇しています。また、年代別で見ると、年齢が高くなるほど市内で買い物をする人の割合が高くなる傾向にあります。

・トレンド『川西市で買い物する』



資料：平成30年度川西市市民実感調査

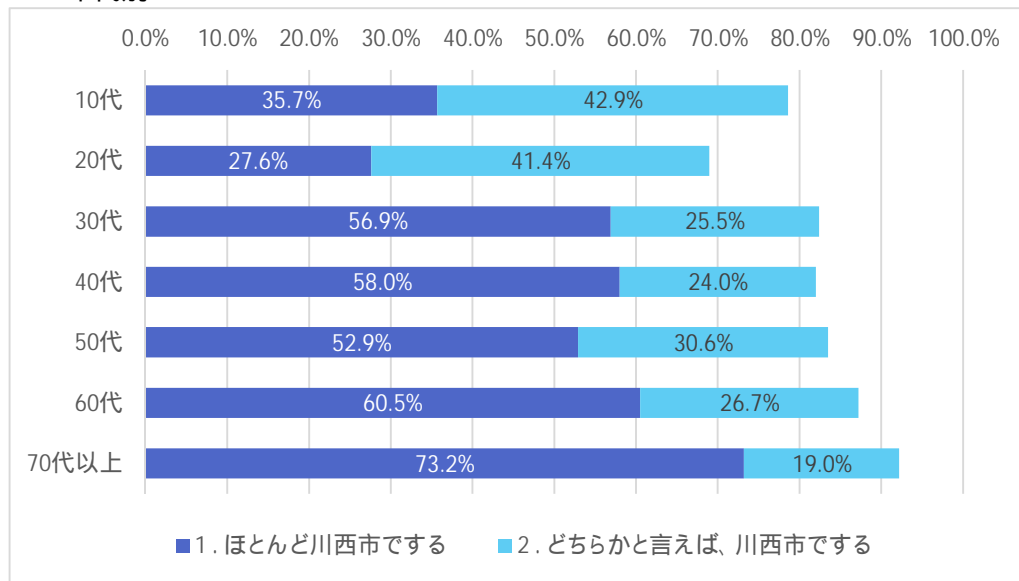
・市内での買い物の状況（平成30年度調査）



資料：平成30年度川西市市民実感調査



## 年代別



資料：平成 30 年度川西市市民実感調査

### 【前計画での『商業の課題』】

#### 1. 中心市街地の集客力の向上

引き続き、市外へ流出している市民の消費を引き戻し、新たに市外からの来街者による消費を生み出すために、川西市中心市街地活性化基本計画に基づき、川西能勢口駅と JR 川西池田駅周辺におけるにぎわいを創出することが必要です。

#### 2. 地域の商店会の活性化

全市的に画一的な空き店舗策を実施するのではなく、商業関係者やコミュニティ関係者などが、地域ごとに現状や課題を踏まえつつ、大規模小売店舗等の協力を得ながら、地域貢献活動を通じて地域活性化などに主体的に取り組むことが必要です。

#### 3. 地域課題の解決に向けた事業者の役割

高齢者・障がい者の生活サポートや交流の拠点など、地域課題の解決に努めることによって、地域コミュニティの一員としての役割を果たすことが必要です。

(2) 工業の現状と課題

【工業の現状】

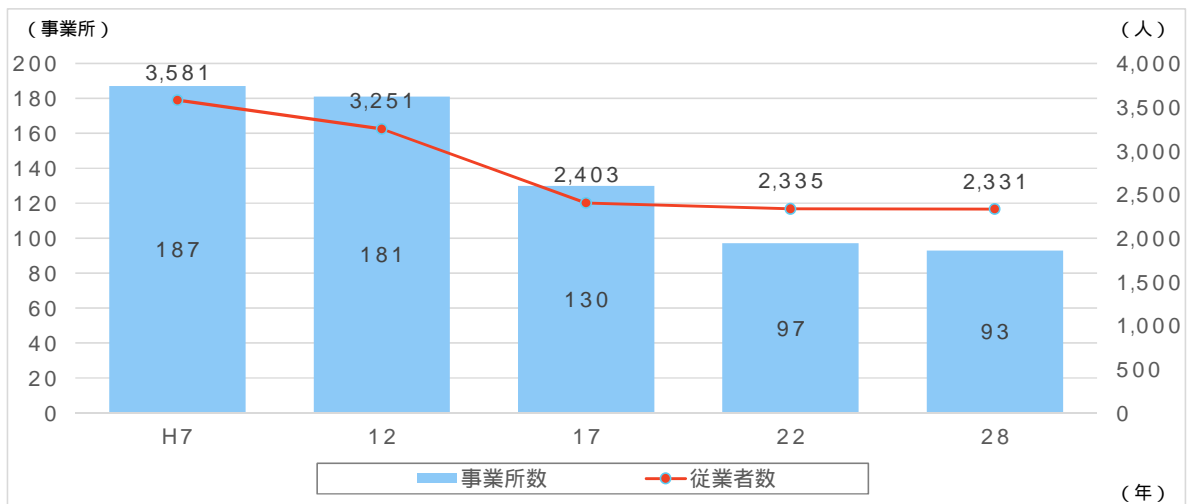
工業では、本市の特徴として、小・中規模の事業所数の割合が高く、製造業を中心とした工業全体の事業所数や従業者数が、年々減少しています。

また、工場の廃業や移転により空地となった土地での住宅開発が進み、操業環境の悪化を招く要因となっています。

事業所数及び従業者数の推移

事業所数及び従業者数の推移をみると、平成7年からともに減少しており、平成28年には、事業所数が93事業所、従業者数が2,331人となっています

図：事業所数及び従業者数の推移



資料：工業統計調査、経済センサス

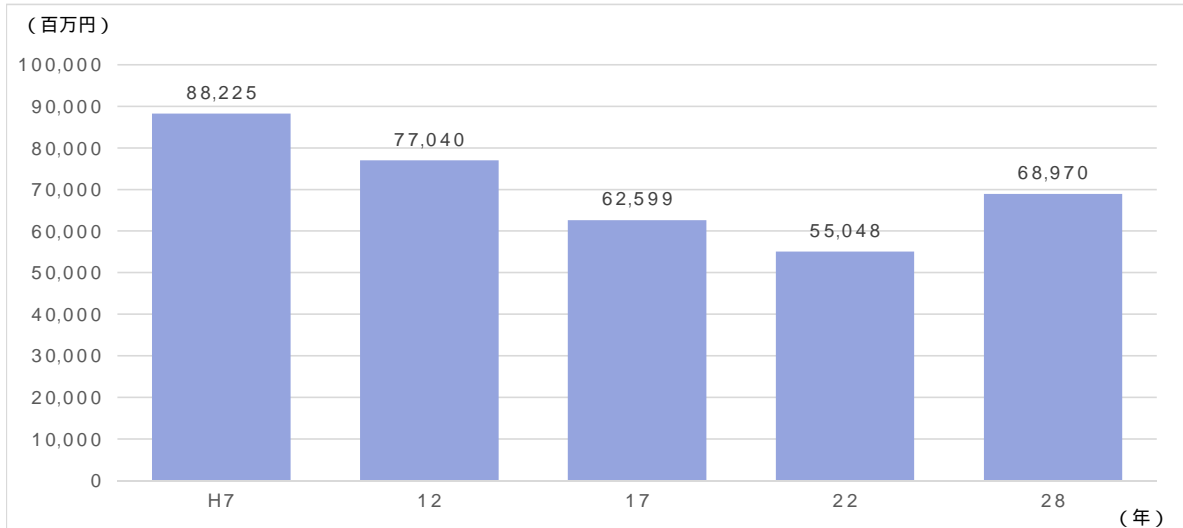




### 製造品出荷額等の推移

製造品出荷額等の推移をみると、平成7年から減少傾向にあり、平成22年には550億4,800万円となりますが、平成28年には689億7,000万円へ上昇しています。

図：製造品出荷額等の推移

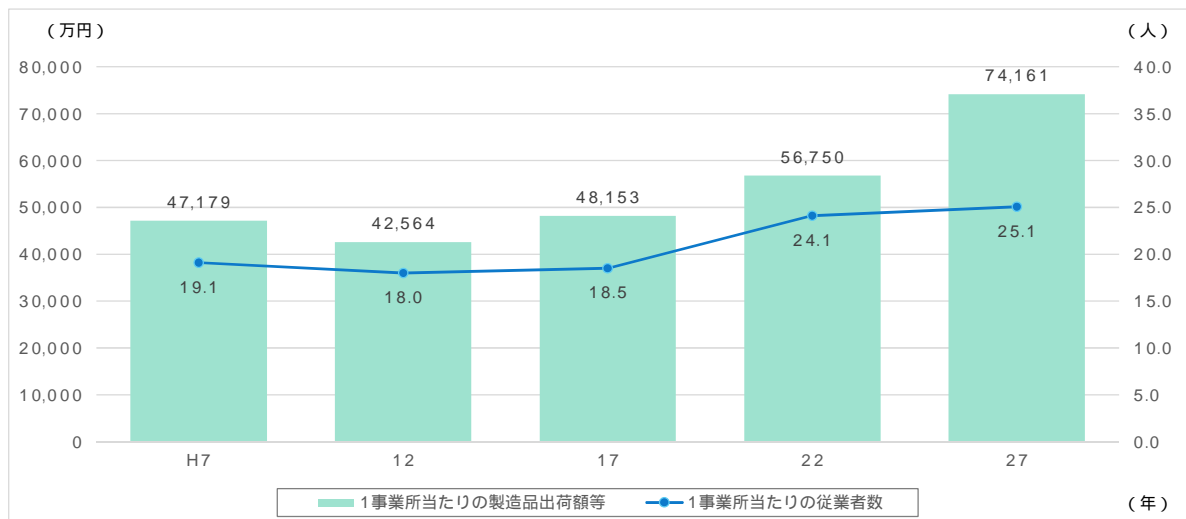


資料：工業統計調査、経済センサス

### 1事業所あたりの製造品出荷額等・従業者数の推移

全体の事業所数や従業者数が減少傾向にある中、1事業所当たりの製造品出荷額等及び従業者数は、平成12年から増加傾向にあり、平成27年にはそれぞれ7億4,161万円、25.1人となっています。

図：1事業所当たりの製造品出荷額等・従業者数の推移



資料：工業統計調査、経済センサス

### 【前計画での『工業の課題』】

#### 1. 中小事業者の経営安定化

一般的に中小企業は事業実績、信用力、担保力等が乏しく、資金確保が困難なため、資金調達支援策として、市の融資あっせん制度の充実など、経営基盤の安定に向けた取り組みが必要です。

#### 2. 工業・準工業地域における操業環境の維持

工場の集積地域では、住工混在が顕著となっており、市外へ企業が転出することによって、市税収入や雇用面への影響が懸念されるため、工業・準工業地域における操業環境の維持に対する取り組みが必要です。

#### 3. 環境へ配慮した取り組み

近年、オゾン層の破壊による地球温暖化をはじめ、省エネルギーなどの環境問題に対し、市民の関心が非常に高まっていることから、事業所の環境へ配慮した取り組みが求められています。



### (3) 農業の現状と課題

#### 【農業の現状】

本市は、阪神間という農林産物の大消費地に近接しており、南部地域では、生産緑地を中心に、立地条件を活かした「キクナ」や「ハウレンソウ」などの葉物野菜をはじめ、「いちじく」、「桃」などが市場へと出荷されています。

中・北部地域では、米を中心に葉物野菜などの少量多品種の農産物のほか、切り花や切り枝、北摂栗が生産されています。このほか、最北部の黒川地区では、里山のクヌギやコナラなどの広葉樹を活用した「菊炭」や「原木シイタケ」の生産が行われています。

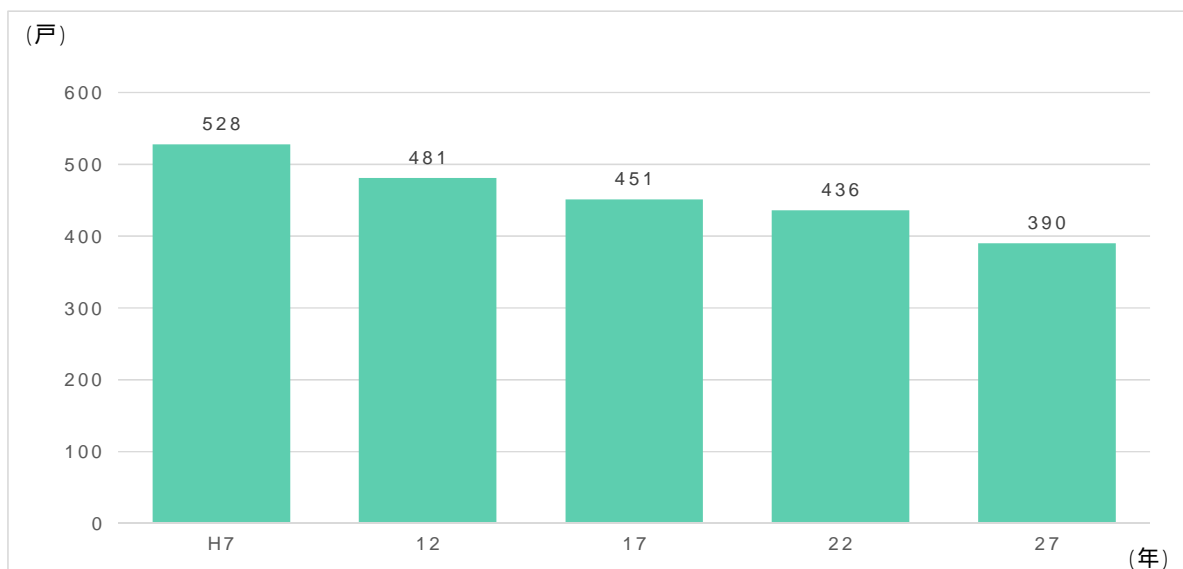
一方で、農業従事者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地の増加や農地の転用による耕作地の減少が進んでいます。

#### 総農家数の推移

総農家数の推移をみると、平成7年から減少しており、平成27年には390戸となっています。

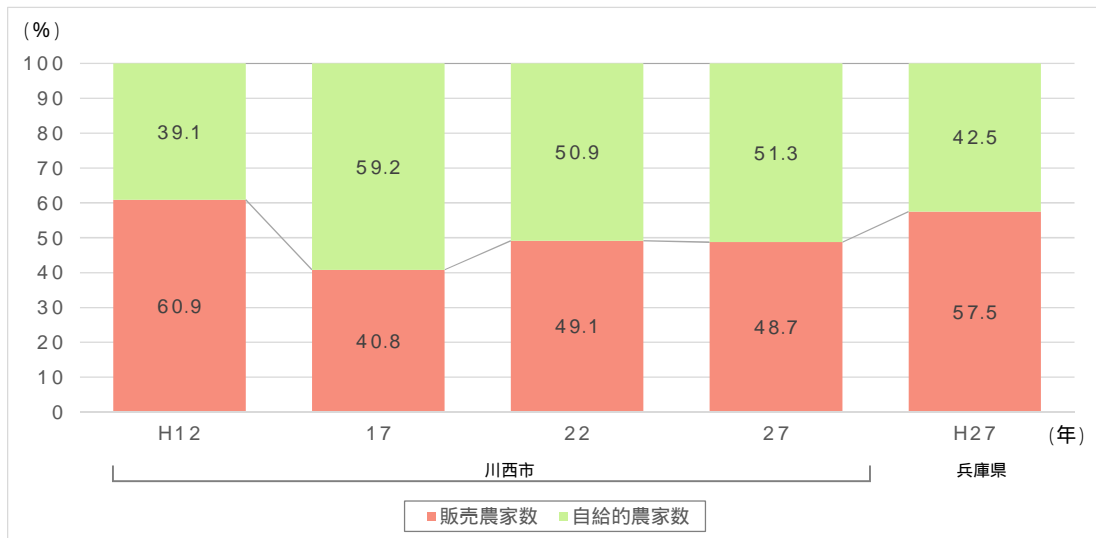
また、自給的農家と販売農家( )の構成比をみると、平成12年から平成17年にかけて自給的農家比率が増加するものの、平成22年から減少は進み、平成27年には自給的農家比率は51.3%(兵庫県42.5%)、販売農家比率は48.7%(兵庫県57.5%)となっています。

図：総農家数の推移



資料：農林業センサス

図：自給的農家比率と販売農家比率の推移



資料：農林業センサス

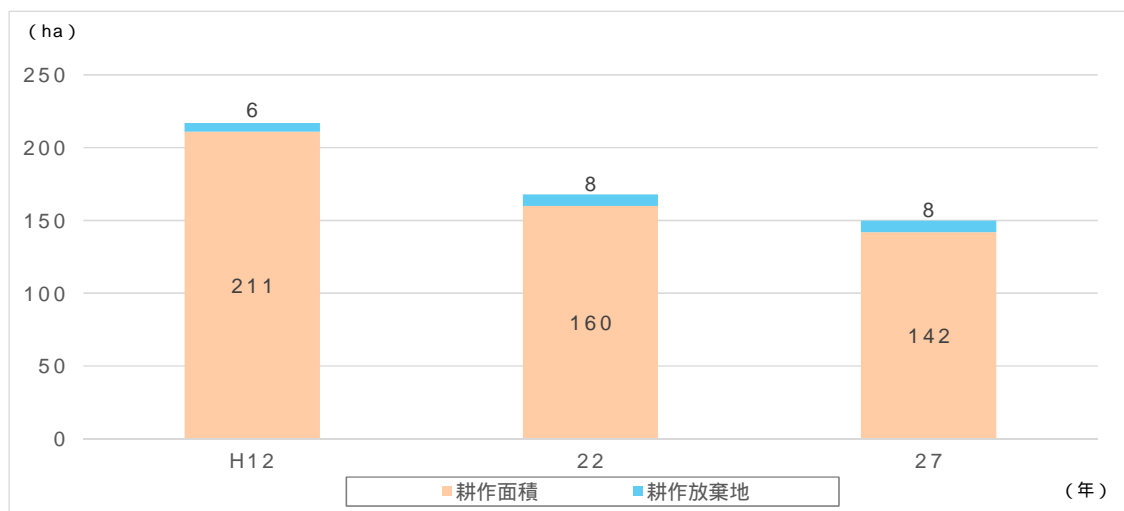
**販売農家**：経営耕地面積が 30 アール以上、または、1 年間の農産物販売金額が 50 万円以上の農家をいう。

総農家の経営耕地面積と耕作放棄地、販売農家の就業人数の推移

総農家の経営耕地面積は、平成 12 年から平成 27 年の 15 年間で、211 ha から 142 ha と 32.7%減少しています。

販売農家の就業者数は、15 年間で、半数近くになっており、年齢別にみると、急速に 65 歳未満の就業者が減少し、高齢者（65 歳以上）の割合が増加しています。

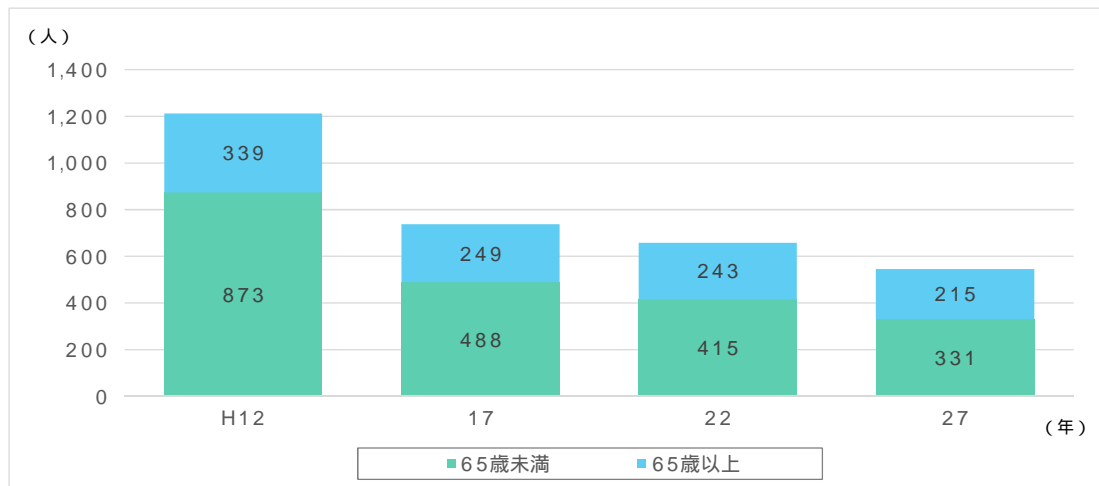
図：総農家の経営耕地面積と耕作放棄地



資料：農林業センサス



図：販売農家の就業人口

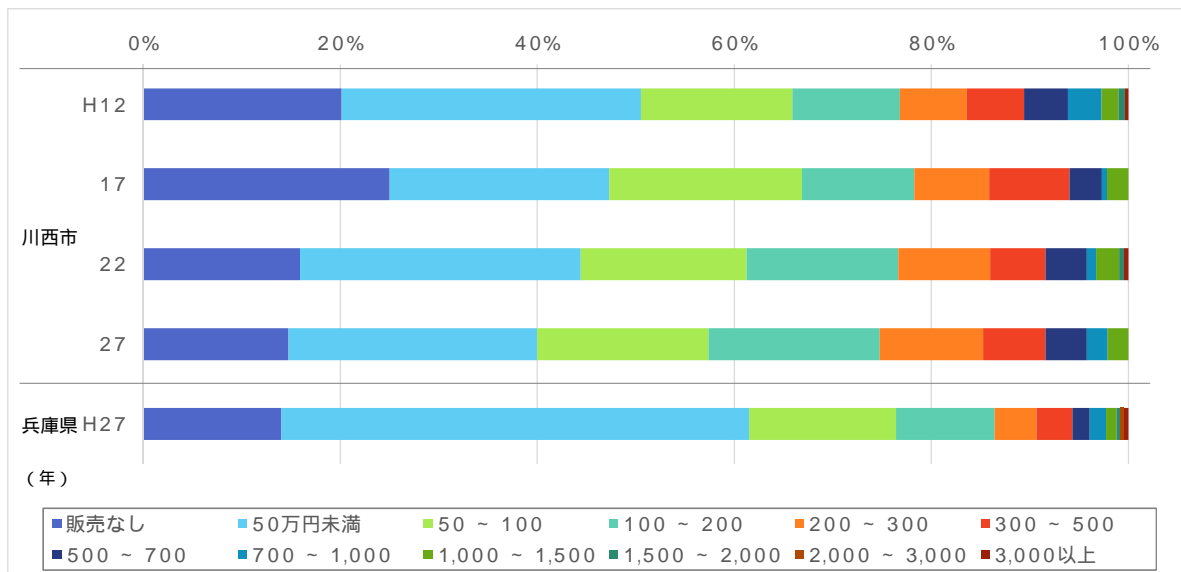


資料：農林業センサス

農産物販売金額規模別農家比率の推移

農産物販売金額規模別農家比率（販売農家のみ）の推移をみると、各年を通じて、「販売なし」を含む「100万円未満」の農家が75%以上を占めています。

図：農産物販売金額規模別農家比率（販売農家のみ）の推移



資料：農林業センサス

集落営農の状況

「食料・農業・農村基本計画」において農業の担い手として位置づけられた集落営農（集落を単位として、農業生産過程の全部又は一部について共同で取り組む組織）は、川西市には存在していません。

表：組織形態別集落営農数

市町村	計	小計	法人				非法人
			農事組合 法人	会社		その他	
				株式会社	合名・合資・ 合同会社		
兵庫県	836	74	40	33	-	1	762
伊丹市	-	-	-	-	-	-	-
宝塚市	4	-	-	-	-	-	4
川西市	-	-	-	-	-	-	-
三田市	18	3	1	2	-	-	15
猪名川町	3	1	1	-	-	-	2

資料：平成27年度集落営農活動実態調査

農業に新規参入した一般法人数

農地法改正(平成21年)後の兵庫県における企業等の農業参入は飛躍的に増加しています。この主な理由としては、阪神間の大消費地に近いことや食品関連企業の立地が多いことなどが考えられます。

表：兵庫県における企業の農業参入の状況(平成30年3月末時点)

参入企業数		172 企業
参入地域	神戸地域	(24 企業)
	阪神地域	(11 企業)
	東播磨地域	(23 企業)
	北播磨地域	(21 企業)
	中播磨地域	(15 企業)
	西播磨地域	(8 企業)
	但馬地域	(21 企業)
	丹波地域	(14 企業)
	淡路地域	(43 企業)

注：複数市町で農地を貸借している企業があるため、合計は180企業となる

資料：兵庫県農政環境部農政企画局農業経営課



## 【前計画での『農業の課題』】

### 1. 農業の担い手育成と耕作放棄地対策の推進

農業者が効率的・安定的に経営ができるよう、新規就農者の受け入れなどを通じて、農業者を支援することにより、担い手の育成と耕作放棄地対策を推進することが必要です。

ため池や農業用水路など、本市の農業を支えてきた農業用施設も年々老朽化が進んでおり、維持管理の対策が必要です。

### 2. 農業・商業・観光の連携による特産品の開発・商品化

農業が安定的に農産物を生産し、商業が消費者に安価で新鮮な状態で販売する仕組みづくりが必要です。

特産品は、消費者・生産者・開発者・販売の視点に加えて、地域の観光の視点も取り入れながら、農業・商業・観光の連携による開発・商品化が必要です。

### 3. 地産地消に根ざした安全・安心な農産物の生産と販路拡大

食の安全・安心や農業の発展の面から、地産地消は大切な取り組みとなっており、農産物直売所への集荷促進や、消費者である市民への周知を図る必要があります。



(4) 観光の現状と課題

交通特性

中心市街地には、阪急電鉄及び能勢電鉄の川西能勢口駅、JR西日本の川西池田駅、阪急バスのターミナルといった公共交通機関が集まり、交通の結節点として、多くの乗降客があります。

また、市南部地域には阪神高速道路や中国自動車道が通っており、市北部地域にも、新名神高速道路のインターチェンジが建設され、道路網も整備された状態です。

加えて、至近距離に大阪国際空港があり、生活や産業において非常に利用環境が整っています。

表：阪急電鉄各駅の1日の乗降客数の推移

(単位：人)

年次	川西能勢口				雲雀丘花屋敷				川西能勢口通過	
	乗車		降車		乗車		降車		定期	定期外
	定期	定期外	定期	定期外	定期	定期外	定期	定期外		
H22	9,694	13,220	10,564	14,263	2,940	3,075	2,806	3,159	18,687	14,335
23	9,689	12,853	10,582	13,758	3,130	2,921	3,023	2,985	18,356	14,278
24	10,108	12,484	10,873	13,560	3,341	2,715	3,203	2,797	18,284	13,237
25	9,470	12,712	10,588	13,422	3,512	2,641	3,342	2,761	17,650	13,234
26	10,171	12,229	10,788	13,412	3,562	2,580	3,454	2,636	17,855	13,035
27	10,415	12,217	11,242	13,142	3,465	2,578	3,309	2,711	18,107	12,661
28	9,759	11,079	10,427	11,940	3,052	1,938	3,004	2,016	16,033	10,488
29	10,405	11,636	10,453	11,755	3,031	1,948	2,993	2,003	16,173	10,336

注：川西能勢口駅の乗降人員には、川西能勢口駅発-能勢線内着人員、及び、能勢線内発-川西能勢口駅着人員を含まない。川西能勢口駅通過の人員平成27年までは平日平均で、平成28年からは通年平均で算出している。は、阪急-能勢を直通で移動した人員数。

資料：阪急電鉄(株)都市交通事業本部

表：能勢電鉄 川西能勢口駅の1日の乗降客数の推移

(単位：人)

年度	乗車			降車			合計
	計	定期	定期外	計	定期	定期外	
H22	23,155	12,458	10,697	24,319	13,335	10,984	47,474
23	23,203	12,761	10,442	24,232	13,622	10,610	47,435
24	23,150	12,817	10,333	24,168	13,577	10,591	47,318
25	23,442	12,433	11,009	24,808	13,285	11,523	48,250
26	23,291	10,267	13,024	23,990	10,556	13,434	47,281
27	22,874	12,856	10,018	23,376	13,273	10,103	46,250
28	22,604	13,065	9,539	23,142	13,462	9,680	45,746
29	22,567	13,143	9,424	23,075	13,538	9,537	45,642

資料：能勢電鉄(株)



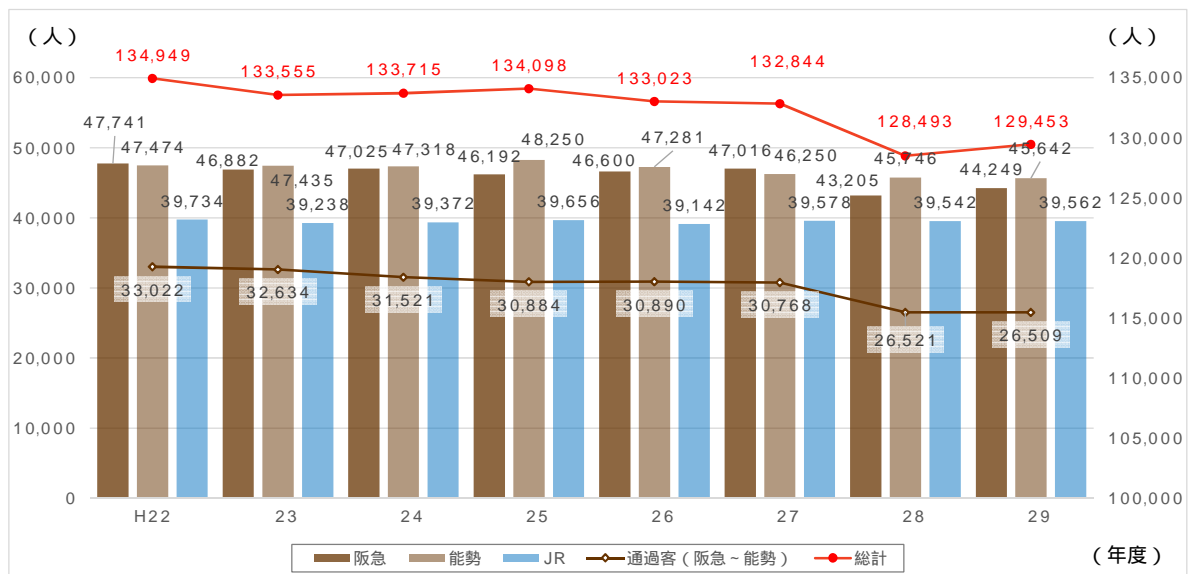
表：J R西日本各駅の1日平均乗車人員の推移

(単位：人)

年度	川西池田			北伊丹		
	計	定期	定期外	計	定期	定期外
H22	19,867	14,140	5,727	5,050	3,815	1,235
23	19,619	13,961	5,658	5,125	3,879	1,247
24	19,686	13,961	5,724	5,170	3,879	1,292
25	19,828	14,137	5,691	5,118	3,830	1,289
26	19,571	13,983	5,588	5,066	3,809	1,258
27	19,789	14,160	5,629	5,185	3,862	1,323
28	19,771	14,125	5,646	5,370	3,976	1,393
29	19,781	14,181	5,600	5,590	4,168	1,422

注：定期乗車券有効枚数は2ヶ月前実績(例 5月分計上 3月分実績である)合計は四捨五入の関係で合いません。  
資料：J R西日本

図：鉄道（阪急電鉄・能勢電鉄・J R西日本）の乗降客数の推移



注：「J R西日本各駅の1日の平均乗車人員の推移」における川西池田駅の数値は乗車人数のみのため、その数値を2倍して掲載。

資料：市統計要覧

地域における観光入れ込み客数

兵庫県における平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に本県を訪れた観光入込客数は139,047千人となり、前年度（134,167千人）に比べて4,880千人増加した（+3.6%）。県下全体の状況について6地域（神戸、阪神北、東播磨、西播磨、丹波、淡路）でプラス、4地域（阪神南、北播磨、中播磨、但馬）でマイナスとなった。

平成29年度における、川西市の観光入れ込み客数は2,435（千人）となり、平成28年度の2,249（千人）から入れ込み客数を伸ばしている。

表：兵庫県下の観光客入込動向

（単位：人）

項目	地域	全 県	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路
平成29年度		139,047	39,330	14,295	16,831	9,305	13,957	10,963	6,605	10,094	4,655	13,012
平成28年度		134,167	35,000	14,538	16,477	8,823	14,110	11,303	6,539	10,118	4,482	12,777
対前年度		+4,880	+4,330	△ 243	+354	+482	△ 153	△ 340	+66	△ 24	+173	+235
		103.6%	112.4%	98.3%	102.1%	105.5%	98.9%	97.0%	101.0%	99.8%	103.9%	101.8%

資料：平成29年度兵庫県観光客動態調査報告書

表：阪神北地域における観光客入込動向

（単位：人）

項目	地域・市町別	阪 神 北 地 域						
		伊丹市	宝塚市	川西市	三田市	猪名川町	小 計	
形態別 入宿 泊込 客数	総入込客数	2,785	8,409	2,436	2,083	1,118	16,831	
	日帰り客	2,748	8,265	2,412	1,902	1,087	16,414	
	宿泊客	37	144	24	181	31	417	
	ホテル	36	114	0	154	0	304	
	旅館	0	26	18	1	13	58	
	民宿・ペンション	0	4	0	0	1	5	
	利用施設別 内 泊	公的宿泊施設	1	0	0	10	9	20
	ユースホステル	0	0	0	0	0	0	
	寮・保養所	0	0	0	0	8	8	
	その他	0	0	6	16	0	22	
客季別	第1四半期（4月～6月）	816	1,723	628	598	298	4,063	
	第2四半期（7月～9月）	741	1,516	590	557	304	3,708	
	第3四半期（10月～12月）	673	1,588	466	537	326	3,590	
	第4四半期（1月～3月）	555	3,582	752	391	190	5,470	

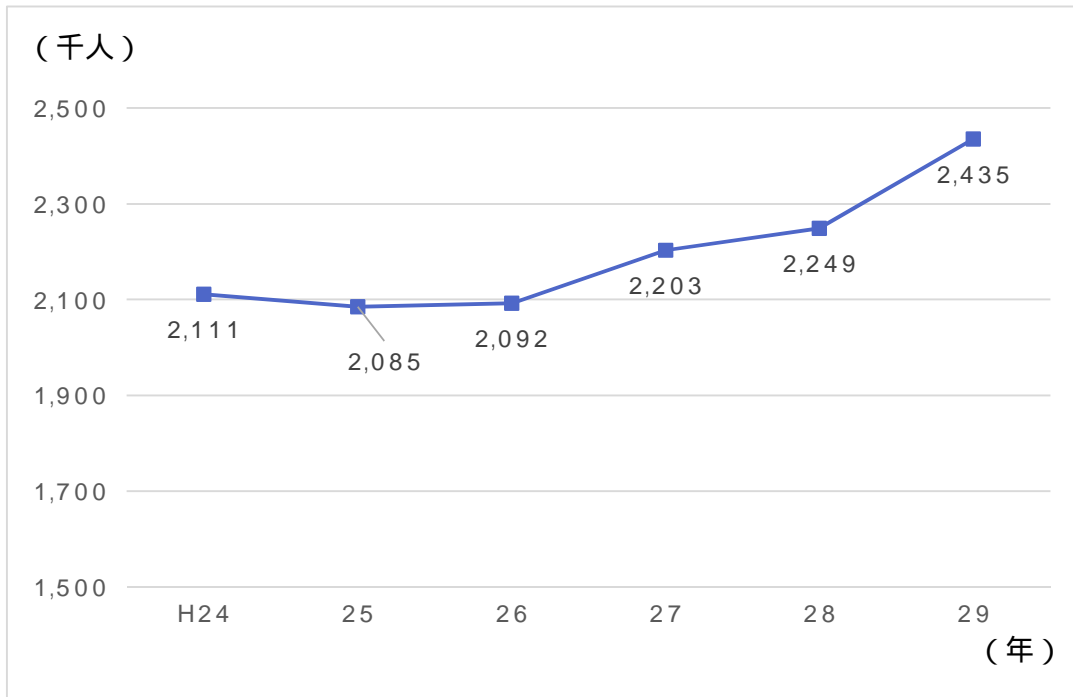
項目	地域・市町別	阪 神 北 地 域					
		伊丹市	宝塚市	川西市	三田市	猪名川町	小 計
目的別 入込 客数	自然	0	0	115	60	25	200
	歴史・文化	426	4,624	1,134	269	44	6,497
	温泉・健康	0	756	18	235	101	1,110
	スポーツ・レクリエーション	1,556	2,570	1,060	1,101	152	6,439
	都市型観光（買物・食等）	88	0	0	75	0	163
	その他	452	334	0	155	743	1,684
	行祭事・イベント	263	125	109	188	53	738

資料：平成29年度兵庫県観光客動態調査報告書



## 川西市における観光客入れ込み客数

表：川西市の観光客入込動向



資料：兵庫県観光客動向調査

### 【観光の課題】

(5) 起業・労働関係

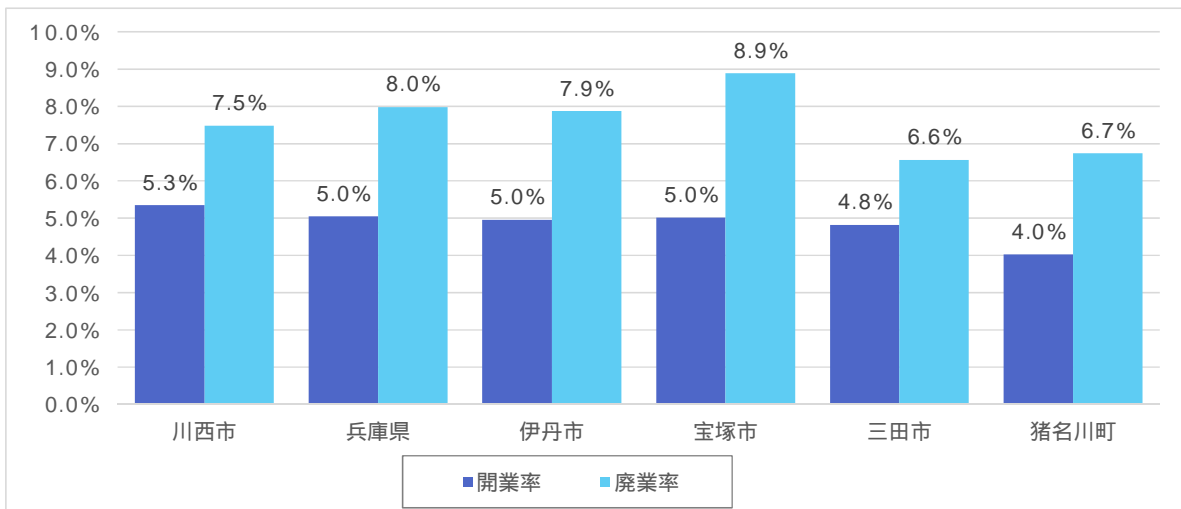
起業

本市の開業率は 5.3%で廃業率の 7.5%が上回っており、開業率は県及び周辺自治体では最も高く、廃業率については県及び伊丹市、宝塚市より低いものとなっている。

表：開業・廃業率

	事業所数			廃業事業所数	開業率	廃業率
	( 民営 )	存続事業所数	新設事業所数			
川西市	4,014	3,591	423	592	5.3%	7.5%
兵庫県	214,169	192,469	21,700	34,319	5.0%	8.0%
伊丹市	5,607	5,052	555	882	5.0%	7.9%
宝塚市	5,423	4,868	555	984	5.0%	8.9%
三田市	2,730	2,473	257	350	4.8%	6.6%
猪名川町	610	561	49	82	4.0%	6.7%

図：開業・廃業率



資料：平成 26 年経済センサス基礎調査



## 就労

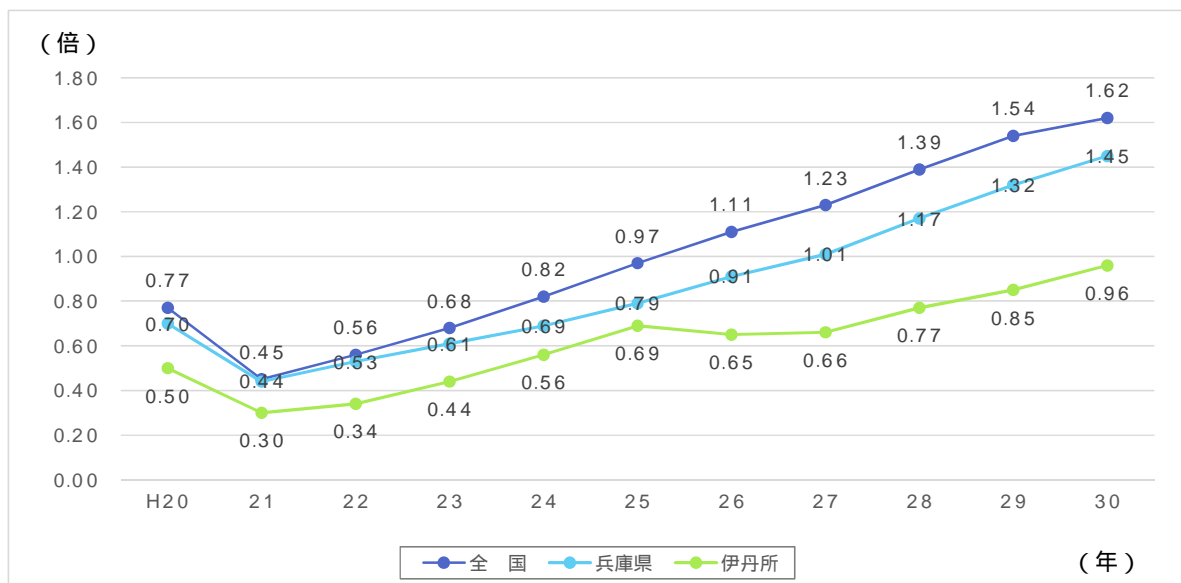
伊丹公共職業安定所管内における有効求人倍率は、平成26年以降上昇傾向にあるが、全国平均より0.66ポイント、兵庫県平均より0.49ポイント低い状況となっている。

川西しごと・サポートセンターの新規求職者数は約1,500人、就職件数は約1,000人で、ともに横ばい傾向で推移している。

表：伊丹所管内の有効求人倍率

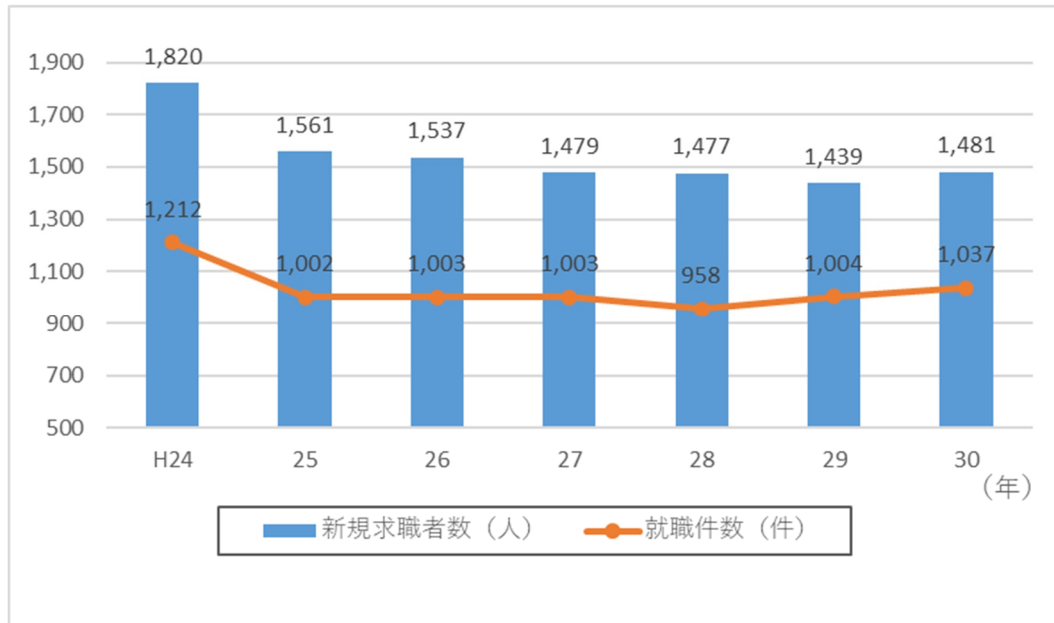
年平均	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
全国	0.77	0.45	0.56	0.68	0.82	0.97	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62
兵庫県	0.70	0.44	0.53	0.61	0.69	0.79	0.91	1.01	1.17	1.32	1.45
伊丹所	0.50	0.30	0.34	0.44	0.56	0.69	0.65	0.66	0.77	0.85	0.96

図：伊丹所管内の有効求人倍率



資料：伊丹公共職業安定所

図：川西しごと・サポートセンター 新規求職者数と就職件数



資料：産業振興課

【起業・労働関係の課題】



## 各産業分野における 課題と対応の方向性

「課題」 = ○ - ヒアリングで意見のあったもの、 - 市民会議で意見のあったもの 無印 - 事務局で追加したもの

「既存事業」 = 主な事業について、概要がわかるよう補正した名称で記載

分野	課題	対応する既存事業名	新ビジョンの基本方針 (たたき台)	
起業	起業後の広告・集客・需要の把握		1 - 1 起業・創業 の促進	1 しごと の 創 出 と イ ノ ベ ー シ ョ ン の 活 用
	コミュニティビジネス			
	起業に向けた支援	女性起業塾	1 - 2 新たなビジネスや イノベーションの 活用	
	起業家の交流・支援施設			
観光	隣接市に比べて知名度が低い、PR 不足	観光協会補助金、黒川地域活性化事業	2 - 1 中心市街地の にぎわいの創出	2 まちの にぎわいと 歴史 自然 体験 による 交流 の 活 性 化
	コンテンツ・リソースを生かせていない	源氏まつり		
	隣接市との一体的な観光振興	猪名川花火大会、いいな里山ねっと	2 - 2 市内観光資源の ブランド化の推進	
	商業・農業等との連携			
商業	魅力のある個店がない、市外に消費者流出	新規出店開業支援補助金	2 - 3 市町域を超えた 観光振興 ネットワークづくり	
	買い物に不便な地域がある(市北部・団地)	商店街空き店舗再生支援補助金		
	売り上げ高、客数の減少	新商品開発補助金 五つ星ひょうご選定品補助金		
	空き店舗がある	新規出店開業支援補助金		
	事業承継	商店継承支援補助金		
	インターができたがメリットを生かせていない			
	イベントが少ない、PR が弱い			
	商店街の PR	商店街イベント補助事業		
中心市街地の回遊性が低い	中心市街地活性化協議会補助金 (イベント事業・イベント広場設置)			
工業	事業承継		3 - 1 商工業の 経営基盤強化	3 既存 産業 の 持 続 と 活 性 化
	労働環境			
	企業誘致(含羅林山等)			
	操業環境の悪化(住宅隣接)	操業環境継続奨励金		
	技術開発・生産性向上	技術開発、工業所有権取得補助金		
	販路拡大	見本市出展補助金		
	環境への配慮	エコアクション21認証補助金		
農業	耕作放棄地の増加	市民ファーマー制度	3 - 2 農業の 生産・経営基盤 の安定	
	新たな担い手不足	楽農ボランティア、農業塾		
	鳥獣による被害	有害鳥獣捕獲		
	収益が低い	経営所得安定対策		
	機材の購入・維持経費が高額			
	農業を地域で守る			
	ため池、水路の維持	災害復旧事業、施設改良補助金		
	地産地消の推進・販路拡大	農業振興研究会、マルシェ、直売所		
	特産品の振興	いちじく・桃即売会		
	森林の保全	森林ボランティア活動補助金		
労働	○ 人材不足		4 - 1 産業を担う 人材確保と育成	4 産業 を 担 う 人 材 確 保 と 育 成
	○ 人材育成			
	○ 外国人雇用			
	働く場所がない			
	就職支援	しごと・サポートセンター設置 キャリアカウンセリング		
	若者(39歳まで)の就労支援	若者キャリアサポート川西 若年者就労体験支援事業		
	障がい者・高齢者の就労支援			
	働き方改革(ワークライフバランス)	在宅ワークセミナー		
	労働者支援	技能功労・優良従業員表彰、産業保健事業 勤労者福祉サービスセンター補助金、 労働相談、労働セミナー		